(明治四十年九月八日第三種郵便物認可) 大正五年四月二十日 THE KEIJO NIPPO 第三千八百五十號 (一)

京城日報

十一日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

發行兼編輯人 奥田直毅

總督訓示

道長官に對する

客歳六月各位を會同してより以來、今や將に期年に垂んとす。其の間道長官中卒去又は疾病の結果交迭新任の事あり。又時局の爲多少の影響を受けたりと雖も、政務の進行上格段の支障を見ざりしは、本總督の各位と共に欣幸とする所なり。殊に昨秋始政五年記念朝鮮物産共進會を開催するに方り、各位に於て能く本府の方針に基き、措置其の宜しきを得たるを以て、大體に於て所期の施設を完うし。既往五年間に於ける進歩の實況を概觀するを得たり。抑も該物産共進會を開催したる目的が單に從來の成績を展示するに止らず其の利害得失を考覈し、以て將來一層の改良進歩を圖るに在るは、各位の熟知する所なるべし。若し其の成績に對し、誤つて驕慢の心を起す者あらば、啻に同會開催の本旨に違ふのみならず、將來の發達を挫折するの虞なしとせず。朝鮮の經營施設は熱誠なる官民の協力に依り、今日の進境に達するを得たりと雖も、決して斯の如き小成に安んずべきに非ず更に進んで之に倍蓰するの事功を期せむが爲には、尙一層の奮勵努力を要す。是れ本總督が本年の初に於て特に諭告を發し、官民一般の覺醒を促したる所以なり、各位は既に其の旨趣の徹底に努めつゝあるを疑はずと雖も、言說は易くして實行は難し本總督は上下一致該諭告に擧示したる要項を實行するに於て、遺漏なからむことを切望す。

新政實施の初、財政の整理を爲すに方り、朝鮮の收入は未だ以て全般の政費に充つるに足らざるか故に、創業の經費に付暫く母國の補助を仰ぎたりと雖も、漸次朝鮮開發の歩武を進むるに隨ひ、一般會計の補充金を遞減し、終に全く之を辭せむとするの旨趣を以て、大正三年に至り爾後五箇年を期し、此の目的を達するの計畫を確定せるは、各位の既に知悉する所なるべし。而して之が爲必要なる財源を求むるには、幾多の方法あるべく、殊に税種寡く税率低き現時の朝鮮に於ては、大に新税を起し又一般の税率を引上ぐるも敢て難きに非ざるべしと雖も、多年疲弊に苦しめる民衆の負擔を驟增するは、機宜の措置に非ざるを以て、先づ舊に依りて稅制の整理を行はむと欲し、元來輕きに失したる地稅の增率、市街地稅の賦課並に煙草及び酒類の消費稅等を實施したるに止め、其の他は概ね自然增收に依るの方法に出でたり。抑も特別會計獨立の方針は、獨り母國の負擔を輕減するを以て主眼とするに非ず。之に由りて朝鮮財政の基礎を安固ならしむるを本旨とするが故に、必ず豫定の計畫を實行せざるべからず。但し經濟界の緩急乃至作物の豐凶に依り、時に歲計に多少の伸縮あるべきは、勢の免れざる所なり。客年中は旱災、水害に加ふるに米價の低落、經濟界の不振を以てし、本府の歲入に尠からざる減少を來したるを以て、新事業の施設は勿論既設の如きも、必要止むべからざるものゝ外は、本年度豫算に計上せざることゝせり。各位は宜しく經費の節約を旨とし、適宜の措置を講すべし。尤も今日の民度に於ては、産業の開發、敎育の普及並に衞生、土木等の事業にして、本來地方の施設に屬すべきものに對し、相當の國庫補助を要することも亦止むを得ざる所なるを以て、此の方面に於ては特に削減を加へざるの方針を執れり。然るに此種の補助額は年々增加し、本年度に於ては約三百三十萬圓を算するに至りたり。斯の如き國庫の負擔は、現今の歲入に照らし決して輕しと謂ふべからず。各位は宜しく周到なる注意を加へ、補助の目的を貫徹するに於て遺憾なからしむべし。

物資出入の均衡を得るは貿易の要諦にして、經濟の基礎亦之に由りて鞏固なるを得べし。幸にして近年朝鮮貿易は、一面に於て輸入額の減少すると共に、他方に於て輸移出額著しく增進し、漸次順調に向ひつゝあるは欣ぶべき現象なり。是れ固より種々の原因あるべしと雖も、產業獎勵の效果亦與つて力あるや必せり。然れども殖產興業の計畫を爲すに當りては、常に需要と供給との關係を考察して、適宜の措置を誤らざるを要す。既往五年間に於ける實驗に照らし、各地に於て生產し又は輸入する物品は、如何なる種類又は性質に屬するかを詳かにし、其の生產を助長するには嗜好の適否、販路の遠近運輸の便否其の他の關係を打算したる後、當該物品の增殖又は改善を圖るを順序とす。又輸入品を防遏せむとせば、其の需要消費の實況に鑑みて、既生產品の改良を促し、或は新に代用品の生產を勸むる等、實際に適應するの措置に出づるを要す。斯の如くにして始めて自作自給の旨趣を貫徹し、更に進んで海外輸出の增進に努むるを得べきなり。

凡そ地方長官は、其の職權に關係する所直接たると間接たるとを問はず常に一道の情勢を通覽し、各般の事物をして偏重偏輕の嫌なく、圓滿に發達せしめむことを期せざるべからず。是を以て各位は先づ其の職權に屬する、各部機關の統一に留意し、其の施設をして區區に流れ、又は權衡を失するの虞なからしめ、尙其の直接の責任に屬せざる事項と雖も、苟も地方の隆替休戚に關係あるものに付ては、常に注視を怠らず、道の施設と相倚り相輔け、互に連絡を保持して道勢の進運に寄與せしむるを要す。若否らずして其の間支吾扞格の患あるに於ては、啻に一般事務の進行を阻礙するのみならず、或は人民をして其の適從する所に惑はしむるの虞なしとせず。本府に提出すべき文書は、特別の場合の外總て道廳を經由せしめ、近時又衞生組合、消防組合の如き地方團體の系統に屬せざる事務に付ても、各位をして參與せしむるの制を定めたる、皆此の趣旨を徹底せしめむとするに外ならず。各位は宜しく此の意を體し、其の職責を全うせむことを期すべし。

大正三年府郡面の區劃を釐革し、次いで府制を實施してより、一般地方制度の面目一新したりと雖も、府に在りては既往に於ける錯綜せる事業を繼承し、而かも財源の之に伴はざるものあり、爲に其の施設多くは一時の要求に應ずるに過ぎざるの觀なきに非ず。願ふに府の施設や將來益々多端となり、其の事務も亦隨つて複雜を加ふべきは免るべからざる趨勢なり。而して多數內外人民の休戚は、實に府行政の良否に繫るが故に先づ事務の整理改善を圖ると共に、適切なる事業經營の根本方針を定むるを要す。曩に府處務規程の準則を定めたるも、畢竟執務の簡捷と正確とを期するの旨趣に外ならず。而して事業の計畫及び實行に付ては、將來永遠の發展を考察し、且財源民度に照して緩急を顧慮し、都市の經營上適切の措置を誤らざらむことを要す。

郡島面の行政事務は、之を舊時に比すれば頗る整備の域に近けりと雖、其の內容に於て尙改善を要するの點鮮しとせず。殊に面吏員の非行に至ては、大に注意を要するものあり。各位は絶えず郡守、島司を督勵し、常に面吏員の選拔を愼み、適材の登用に努めしむると共に、其の平生の執務を指導監督するに於て遺漏なからしむべし。殊に近き將來に於て面制度を改正し、其の基礎を確立し、以て地方の發達に資せむとす。各位は宜しく此の意を體し、面吏員の素質を改善して面事務の整理を圖り、豫め他日の制度改正に備ふることに留意すべし。

併合以來朝鮮人民の撫恤の天恩に浴するや一再に止らず。之に依り或は各郡に凶歉救濟の基金を設け、或は醫院を增設擴張して窮民救療の施設を整へ、或は濟生院を設立して孤兒盲啞者の教養を開始し、或は明治天皇及び昭憲皇太后崩御の際の御下賜金を以て、恩賜罹災救助基金を設定し、更に昨秋御大禮の際に於ける御下賜金を以ては、恩賜賑恤資金を設定し、無告の鰥寡孤獨を救濟するの資に充てたり。此の如き施設は實に朝鮮の現狀に於て、當面の急に應せむか爲、必要缺くべからざるものにして、醫院、濟生院を初とし其の實績既に顯著なるものあり。然れども救濟に關する施設は、其の運用に周到の注意を拂ふに非ざれば、却つて不知不識の間に遊惰放逸の風を釀すの虞あり。惟ふに救恤の事たる、民衆の自覺を促し、自營の途に就かしむるを本旨とす。一時の施與を爲すが如きは抑も末なり。本總督が常に奢侈濫費を戒め、勤儉力行の氣風を鼓吹する所以のものは、斯民を誘導して恆產あり恆心ある良民たらしめ、以て赤子撫恤の聖旨に副ひ奉らむとするに在り。

新政實施以來各位が勤儉貯蓄の獎勵に努めたるの結果、今や全土の貯蓄狀況を觀るに、銀行及び郵便貯金の總額四千四百三十六萬餘圓、又朝鮮人の貯金契及び組合の數六千七百二十三、貯金額一百十一萬餘圓の多に上りたるは、朝鮮の現狀に照し頗る良好の成績なりと雖も、此等の契及び組合の中には、未だ實質の伴はざるものあり、或は沈衰振はざるものあり。其の間種々の原因あるべきも要するに當局の指導獎勵及び整理に於て、未だ周到ならざるに由らずんば非ず。由來朝鮮人は因襲の久しき勤勉の美風を喪ひ、遊惰の陋習に陷りたる者多きを以て、之を矯正提撕するには、能く民情を審かにして適切なる方法を選び、以て勤儉貯蓄の實績を擧ぐることを期すべし。

教育機關は漸次整頓し、公立普通學校の如きは既往五年間に於て四倍以上に增加し、尙高等普通教育の外、實業教育に關する機關も亦漸次完備したるを以て、更に工業傳習所、醫學講習所及京城專修學校の組織を改善して、之を專門學校と爲し、朝鮮の現狀に於て最も必要適切なる學術技藝を修得せしめむとす。然れども完全なる教育の效果を擧げむとせば先づ教育當局者に其の人を得るを要す本年の劈頭特に教員心得を發布し、其の日常服膺すべき綱領を擧げ、國家教育の大本を昭かにし、以て其の歸嚮する所を示したるは之が爲なり夫れ帝國の萬邦に冠絶する所以のものは、上に萬世一系の皇室を戴き下に忠良無比の臣民ありて、相與に國運の隆盛を企圖して須臾も息まざるに在り。幸にして聖世の民たる者唯知識技能の研磨を以て足れりとせず、心を正うし意を誠にし、常に忠君愛國の大義を固持し、以て聖明の臣子たる品位を辱めざるの覺悟あるべきなり。教化の本旨實に茲に存す。各位は能く此の意を體し、學務當局者は勿論父兄子弟の提撕誘掖に努むべし。

殖產興業の獎勵は、固より未だ所期の希望を滿たすに至らずと雖も、各位の努力に依り、其の效果頗る觀るべきものあるは、國家の爲欣慶とする所なり。主要なる農業中、米作は昨年中旱害及び風水害を蒙りたる地方ありしに拘らず、能く一千一百餘萬石の收穫を得、大正三年の大豐作と相俟つて、移出米は未曾有の多額に達し、其の價額二千四百五十餘萬圓に上れり。而して大豆、繭、牛皮等の輸移出額亦著しく增加したるのみならず、米、粟、小麥粉等の輸移入額却つて減少せるの事實に徵すれば、一面農產物の改良增殖を立證すると共に、他方に於ては貿易の趨勢益々順調に赴くことをトするに足るべし。輸移出米の增加に伴ひ、特に茲に注意すべきは、米穀の乾燥、調製、包裝等の改善を促し、適當の檢查を勵行し、以て朝鮮米の聲價を發揮し、益々其の販路を擴張すること是れなり。尙米作の外、棉作の擴張、大豆及び小麥の改良、增殖、甘藷、馬鈴薯の栽培等に關しては、既に屢訓示したる旨趣に基き、一層力を其の獎勵に效すを要す。

養蠶は子女も之に從事するを得べく副業として最も有望なる事業たり。優良蠶種の統一選擇に關しては既に示したる方針に依り、著く成績を擧げつゝあるが如し。其の生產品の輸出上、共同販賣の方法に依るは可なりと雖も、其の間嚴に不正行爲を戒め、以て穩健の發達を妨げしめざることに注意すべし。

畜牛の增殖も亦益々良好の狀況に在りと雖も、其の需要の逐年增加するに伴ひ、特に優良牛を擇びて輸移出又は屠殺するの傾向あり。其の結果畜牛の品位體質を退化せしむるの虞なしとせず。各位は此點に留意し、啻に種牡牛のみならず、牝牛及び犢に至る迄、優良なるものに對しては特別の保護を加へて、之が蕃殖の方法を講じ、以て數の增加と共に質の改良を圖るに於て遺算なからしむべし。

森林は國土の保安、水源の涵養、木材薪炭の供給より、風致の維持、氣候の調節に至る迄、多方面に涉りて頗る重要なる効用あり。殊に多年濫伐に委し去りたる朝鮮の森林を保護增殖するは、一日も緩うすべからざる急務なり。施政の當初に於て、森林令を制定して林政の根本を明かにし、爾來鋭意力を植樹造林の獎勵に盡したるは之が爲なり。而して國有林野の貸付處分、地方費、面及び學校等の模範林經營、民有林野の植樹等、孰れも相當の成果を收め得たるに似たり。然れども斯の廣汎なる全土に涉り、一面に於て現存の林野に適當の保護を加へ、他方に於て荒廢せる山野を綠化せむとするは、洵に容易の事業に非ず。故に各道に於て適切なる植樹造林の計畫を立て、官民相一致して林政の實行に努力するを要す。而して其の實行に伴ひ、河川の整理を急務とするは言を俟たざる所なり。是を以て曩に河川取締規則を發布し、河川の狀態を毀損すべき行爲を取締り、以て其の保存と利用とを保障し、尙本年度に於て主要なる河川を踏査せしめ、然る後治水及び水利事業の計畫を定めむとす。各位は河川取締規則の勵行に勉むると共に河川の水源涵養に留意し、砂防林の經營と相俟つて國土の保安、水害の防遏を完うすることを期すべし。

國有林野の保護禁養は固より必要なりと雖も、適當の方法に依り造林貸付を爲すは、林業の發達を圖るべき良法たるを失はず。但だ個人企業者にして、過當の面積を獨占し、其の利益を壟斷し、爲に地元住民に苦痛を與ふるが如きは最も戒むべきことなり。又貸附の後は其の實況を監視し、貸附條件の履行を怠るものに對しては、假借なく適法の制裁を加ふべし。部落附近に存在する國有林野は、其の地元住民をして之を經營せしむるを原則とすべきも、其の範圍は此等住民の實力に副はしむるを程度とすべし。若し漫に廣大なる面積を求めて、住民各自の負擔を重うするときは、爲に所期の事業を遂行する能はざるに至るべし。故に地元住民の共同經營に係る造林事業に付ては、精細の調査を遂げ、先づ以て其の資力に應じて確實に經營し得べき計畫を樹てしめ、漸を逐うて所要面積の完成を期せしむるを要す。尙國有林野內に存在する城址、寺址、墳墓其の他の史蹟にして、學術研究の資料たるべきものは、之を保存するの必要あるを以て、林野の處分に際しては、精密に此等史蹟の有無を調査し、保存を要するものは其の湮滅毀損を防止する爲適當の方法を講ずべし。

水產業は近時長足の進歩を爲し、其の一箇年の漁獲高約一千三百萬圓に達せり。然れども由來朝鮮人の漁業は、尙未だ幼稚の域を脫せず、從業者約十五萬人の多數に上るに拘はらず、其の漁獲高は六百萬圓內外に過ぎず。之を僅々三萬人を出でざる內地人漁業者の漁獲高約七百萬圓に比すれば、却つて其の下位に在り。亦以て朝鮮人の漁法改善の餘地多きを見るべし。又內地人漁業者中、大部分は內地より通漁するを常とし、朝鮮に定住する者は僅に其の四分の一に達せず。斯の如きは一時過渡の現象なるべきも、健全なる漁業の發達を企圖する所以に非ず。故に各位は宜しく一面に於て朝鮮人漁業者の指導に努むると共に、他方に於ては內地人漁業者に定住の便宜を與へ、以て堅實なる漁利の增進を圖るべし。沖合漁業と地先漁業とは互に其の分を守りて其の利を同うすべきものなるに、沖合漁業者中往々大規模の漁法を以て比較的近海に操業するものあり、爲に濫獲の弊に陷り漁場の荒廢を招くのみならず、地先漁業に不利なる影響を及ぼす虞なしとせず。漁業許可の申請に付ては、此點に付最も慎重なる注意を加ふるを要す。水產物の漁獲高は逐年增加の傾向あるに拘らず、尙海外より輸入する水產物は一箇年四十萬圓內外に達せり。蓋し水產物は地方に依り鮮魚の儘消費するものあるべく、又は加工調製を本位とするものもあるべきも、先づ能く需要供給の關係を考量し、輸入品に代るべき水產物の調製を獎勵し啻に國內の需要に應ずるのみならず更に進んで滿蒙其の他支那方面に於て販路を開拓するの途を講ずべし。漁村の維持擴張を圖り、且漁具漁船の改良を助成せむが爲には、漁民の共同自助に俟たざるべからず。其の機關として近來漁業組合の數漸次增加するの狀あるは喜ぶべしと雖も、此等の組合は單に漁業權の獲得と其の共同使用とを以て足れりとすべからず。更に進んで優良なる漁具漁船の普及、水產物の保護、養殖の施設漁獲物の共同販賣等の事業を經營し以て組合員全般の利益を增進することを期すべし。

農作漁撈に次いで最も有望なる事業は採鑛にして、其の產額は逐年劇增し、近年一千二三百萬圓に達し、將來益々發展の勢あり。金、銀の外、石炭、鐵、黑鉛、鉛に至る迄其の產出日を逐うて多きを加へ、尙新たに發見せる鑛物も亦尠からず。曩に鑛業令を發布し、本年四月一日より之を實施せるは、鑛業發展の機運に應ぜむとする旨趣に外ならず。新令に於ては鑛物の種類十一種を加へ、在來の十七種と合せて二十八種と爲し、以て鑛業の範圍を擴張し、鑛業權を物權として之に相當する便益を與へたり又鑛業上必要なる土地の使用又は收用に關しては、土地收用令の規定を準用して、一層鑛業者を保護すると同時に、使用、收用又は補償に付關係者間に於て協議調はざる場合に於て、第一次の裁決權限を地方長官に與へたり。元來鑛業は地中の鑛物を採掘するを目的と爲すものなるが故に、若し鑛業上必要なる土地にして他人に屬するの故を以て、其の使用を強制するの途なきときは、鑛業權を實行するに由なからむとす。是れ新令に於て他人の土地を使用し又は收用し得べき規定を設けたる所以なり各位は右等の事項に付裁決を與ふるに方り、一面に於て土地所有者が蒙るべき實際の損害を塡補するに留意すると共に、他方に於ては鑛業の保護を擧げむことを期し、其の間公明嚴正の判斷を誤るべからず。

曩に新政實施の初に於て、全土に亘る道路網を確定し、以て道路改修の方針を示し、各地方に於ても本府の計畫と相俟つて、道路の修築改良を圖らしめたるに、爾來幸にして各位の奮勵と地方人民の努力とに依り、既往五年間に於て一二等道路一千餘里、三等道路二千餘里の改修を了し頗る地方交通の面目を一新せるの觀あり。然れども之を豫定道路網の全長五千五百里に對比するときは、尙其の半に過ぎずして、主要幹線の脈絡貫通を缺ぐもの、地方開發に必要なる線路にして、未だ改修に着手せざるもの少からず。是を以て第二期治道計畫を定め、此等緊要の事業を完成せむとす。其の要綱に付ては時に及んで說示する所あるべきを以て地方に在りても宜しく本府の計畫と聯絡を保ち、各地に於ける資力と緩急とを參酌して適當の計畫を定め、以て事業の進行を圓滑ならしむべし。既成道路の保全を圖り、其の利用を全うするの緊切なるは、改修事業に讓らざるものあり。蓋し一度改修せる道路にして、護持もなく荒廢に委せむか、改修の效果は忽ち沒却せらるゝに至るべければなり。此の點に關しては、從來の實蹟に徵して多少の遺憾なきを得ず。道路保全の方法は常時不斷の注意を以て之に當れば必ずしも難事に非ず。曩に道路規則を改正し、關係部落の修繕擔當區域を定め、當該部落をして道路監視員指導の下に、常時の維持修繕に努めしむることに定めたるは之が爲なり各位は克く此の意を體し、道路の改修と共に其の保全に留意すべし。

明治天皇の大德偉業は、炳乎として日月の如く、四海を掩ひ八紘に輝けり。昭憲皇太后の仁澤惠化は、藹然として春風の如く、中外に浹せざる者なし。曩に天皇登遐の事あるや、國民擧つて神宮奉祀の請願を爲し、今上陛下大孝至德國民景仰の衷情を嘉納せられ、尋て皇太后の晏駕に會し、更に合祀の儀を定め給ひたり。是に於て政府は聖旨を奉じて神宮奉祀の計畫を立て、官民一致して奉公の誠を表し、用度支辨の法既に決定して、當局は今方に神宮の造營に從事しつゝあり。之と同時に同志相謀り、明治神宮奉贊會を組織し、頌德記恩の至誠を表せむが爲、廣く獻資を募り、之に由りて神宮の外苑を經營し、內苑と相俟つて宮域の規模を大成せむとし、伏見宮貞愛親王殿下其の總裁たり。朝鮮に於ては山縣政務總監支部長として必要の措置を執るべし。惟ふに我等は幸にして明治の聖代に邂逅し、雨露の天恩に浴するや深し。各位は地方に於て、能く神宮奉贊の旨趣を周知せしめ、有志者中眞情誠意を以て獻資を爲さむとする者には、充分の便宜を計り、至誠奉公の心を致さしむるに於て遺憾なきを期すべし。

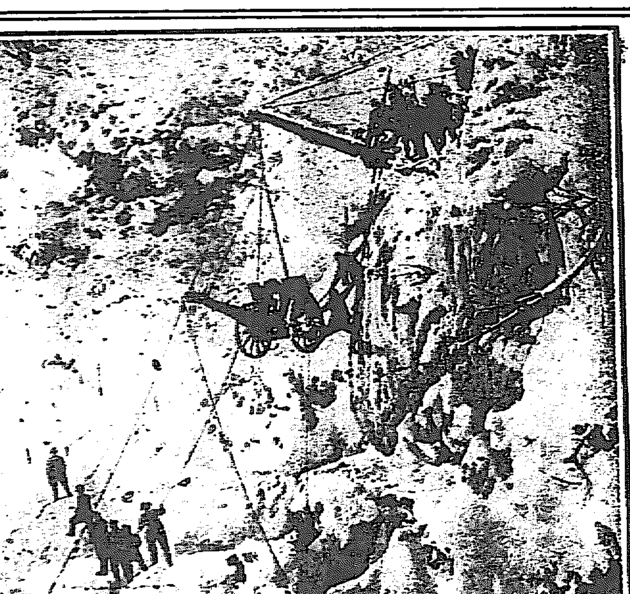
官紀の振肅に關しては屢訓示したる所にして、各位は既に能く其の意を諒とし、部下の督勵に怠らざることゝ信ず。然れども多數の官公吏中今尙非違の行爲に出づる者なきに非ず。其の原因を窮むるに、多くは操守堅からず、素行修らざるに在り。上長たる者宜しく先づ嚴正廉潔自ら率ゐ、儀範を示して以て之が糺正に勗むべし。且其れ官公吏たる者は單に規律を守り非違の行爲なきを以て足れりとすべからず。其の職務に執掌するに忠實熱誠を以てし、苟も澀滯遲緩の弊なきを要す。各位は此の意を以て、常に部下職員を指導激勵し、夙夜自修研鑽に勉めしめ、以て其の職責を全うし、且相當の品位と威嚴とを維持するに於て缺漏なからしむべし。

終に臨み各位連日の勞を多とし、歸任後益々健康を保ちて職務に勵精せられむことを望む。

大正五年四月十日

朝鮮總督 伯爵 寺内正毅

伊太利野砲兵雪中のアルプス越え



皇后陛下御還啓

十日午後五時東京驛御著

三月二十九日御發輿神宮畝傍山陵前四帝山陵御參拜に續いて大禮式場其他に行啓あらせられたる　皇后陛下には本月十日午前七時四十分名古屋離宮御出門八時同地官民の奉送を受けさせられ同驛御發車長途の御旅行些の御疲勞をも拜せず御機嫌麗はしく午後五時東京驛御著車同驛にて伏見元帥宮閑院大將宮同妃其の他各皇族同妃殿下並に大山東郷兩大勳位大隈首相以下各國務大臣其の他文武高官の奉迎を受けさせられ古川副總裁の御先導にて御車寄より御馬車に召し千種典侍御陪乘各供奉員を從へさせられ宮城に還啓あらせられたり（東京特電）

澄宮の御箸初式

紅葉山にて御撮影あらせられん

去る四日葉山より御歸京遊ばされたりし澄宮殿下の御近情を承はるに御用掛立花氏は謹んで語るやう「澄宮殿下には去月十三日葉山御滯在の砌侍醫加藤博士から種痘を受けさせられまして其後御輕微の御發熱がありましたが間もなく御平癒遊ばされ爾來極めて御機嫌宜しく御體量も去る五日拜診の折は一貫七百二十匁在らせられ御乳人方又は女官方が抱擁し奉る折などはいとも愛らしき御笑を浮べ給ふ由です又去月三十日御擧行あるべき御箸初式は愈々來る二十日前後に青山御殿で行はせられ之と同時に宮城紅葉山の撮影所で御寫眞を撮らせらるゝ事に御治定に成つて居られる由承はつて居ります」（東京）

濱離宮の觀櫻御會

例年の日より多少遲延されん

天皇皇后兩陛下には例年の如く濱離宮に行幸啓觀櫻御會を催させらるゝにより式部職にては夫々準備に著手中なるが本年は時候不順の爲に櫻も稍遲れたる由なれば隨つて時日も多少例年の日より遲延さるべしと承はる尚從二位以下從四位以上並に勳二等勳三等の諸員並に外國人の勅任級以上のもの（夫人令孃をも）に對しても亦召させらるゝを以て近日中の官報を以て其の住所氏名を式部職に通知すべき旨達せらるゝ事なるが決定の上夫々御召狀を發せらるゝ筈なり（東京電報）

臺灣共進會開館式

閑院宮台臨＝開會式は十八日

▲民政長官巡閲　臺灣勸業共進會各陳列館の出品は全部四月七日中に陳列を終り各擔當者は更に一層の奮勵を加へて事務の進捗を圖りたるが右陳列完了の上八日民政長官は各館を巡閲して其の整頓を指揮し並に共進會場の完備を告げたり依て十日午前九時を期し第一會場に於て左の順序に依り開館式を擧行し正午より一般の觀覽を許せり

▲擧式順序

一、安東總督臨場
一、高田事務部長式の開始を告ぐ
一、下村共進會長開館の辭
一、安東總督式辭
一、來賓祝詞
一、閉館

午前十時事務部長先導にて第一同館内巡覽終て立食、右終て第二會場隨意觀覽

▲開館と開會式　四月十日開館式は開館觀覽を始むる意味にて總督臨場擧式し而して十八日の開會式は閑院宮殿下台臨せられ猶多數の參列者會合するを以て盛大に擧式せらる可しと

▲マラソン競走　臺北市中に於ては十日以後引續き臺灣日々新聞社主催の全島マラソン大競走あり、大錦一行の東京大相撲あり、市内商店聯合大賣出あり、又會合として赤十字社、愛國婦人、篤志看護婦人、東洋協會各會總會、全國新聞記者大會、臺灣鑛業會大會、臺灣醫學大會、全島藝林會其の他多數を算し、又内地よりは

▲各團體の觀察團續々來著すべく之より臺北の天地は空前なる雜沓を呈するに至るべきは想像に難からざる處なるが協贊會としては迎賓、賓館、商藝等の施設の上、更に内外來觀者の接待に全力を擧げ殊に接待係は旅館係、會場係、送迎係等に分ち夫々分擔して官民一致協力して東奔西走しつゝあり（臺北電報）

烈風中の曲乘飛行

七百米突の高空より逆落し　滿都の人心を震駭せしむ

アート、スミス氏の冒險飛行第三日目は十日午後三時三十分擧行せらる此の日朝來烈風激しく風速二十五米突を超えたるに陸軍飛行第四期卒業飛行は中止となりスミス氏の飛行も主催者側にて再三中止を勸告したるも大膽なる同氏は烈風は少しも恐れずと豪語し三時二十分烈風を衝いて離陸し一千米突の高空に昇りて漸次下降し七百米突の高空に於て逆轉三回を續け逆落しに一直線になりて悠々著陸したる妙技は觀客を初め滿都の人心を震駭せしめたり（東京特電）

□我社主催講演會

講演者＝東京帝國大學教授 法學博士　吉野作造氏
演題＝戰前及戰後の歐洲
日時＝四月十二日午後四時卅分
會場＝南山町高等女學校
來聽隨意

來聽者へ注意

一、講演は正四時三十分より開始すること
一、靴及護謨草履の外は會場入口にて包紙を用意し置くを以て各自下駄草履等を包みて會場内に携へられたし
一、火災の怖れあるを以て會場内は喫煙禁止のこと
一、滿員の際は不得已入場謝絶するに至るべし

俘虜逃亡

又も久留米收容所より

十日午後六時より十一日午前八時の間に久留米俘虜收容所の俘虜獨逸水兵エルンスト、ウイルラー、ハル（三十）逃亡し關門地方に逃れし形跡あり目下警戒中なり（門司特電）

平北柞蠶會社工場燒く

平北義州寄城洞平北柞蠶株式會社工場より本月六日午前十時頃出火し事務室及び繭乾燥室の平屋建一棟を燒失して鎭火せしが損害約一千五百圓なり原因は過度の焚火より發したるものなりと

扶桑艦の椿事

扶桑艦は十日廣島灣に於て水雷發射後喞筒破裂し死者一名負傷者二名を出せり（東京電報）

宿屋荒しの賊

全南光州郡石底面生れ住所不定の鄭樂德（三二）は昨年十一月二十九日より京城南大門通五丁目宿屋金東鎭方に投宿し十二月二十九日迄滯在して宿料二圓四十錢を踏倒して逃走し永樂町の鮮人宿にても同樣手段を以て逃走するに當り雜品數點（五圓餘）を竊取し逃走中本町署に取押へらる

玩具彈で負傷

京城堅志洞七十二番地徐光願長男徐順童（一四）は十一日午前十時四十分頃自宅温突内に於て玩具なる拳銃に裝塡する紙彈約二十枚重りたるものを誤つて踏みつけし爲め該紙彈は爆發し片足を負傷したる騷ぎに早速岩崎病院へ入院せしめ加療中

オリンピック大會

第[illegible]回極東オリンピック大會は大正六年五月青山練兵場に於て擧行する事に決定し今夏中其協議條件其他決定し來る五月には日本選手の選擇をも爲す可しと（東京電報）

中村工務所擴張

四丁目二番地中村建築設計事務所にては今回工事部を新設し建築設計、請負、監督の一切に當る事となりたり元來建築は第一技師の設計と第二請負業者の工事請負と第三設計者の監督とこれ丈け相俟つて始めて完全なる建築を爲す事を得る關係なるに甚だ大なる建築にあらずして設計監督と請負とを別々に依頼するは聊か大袈裟なる嫌ある者及び大建築にありても信頼するに足るべき技術家を得て之等一切を擧げて依頼すると云ふ事は極めて便利なるを以て内地に於ても横川工務所其の二三の工務所に於て設計、監督及び請負一切の依頼を受けつゝあるが今回京城三越支店の建築に當り同本支店共に從來設計、監督、請負一切を横川工務所に委囑する例に由り同支店にては中村工務所に一切を擧げて委囑したるより同工務所は之れを機として新に工事部を設け二般の建築設計、請負、監督の依頼に應ずる事となりたるが一般の競爭入札等には關係せざる由なり

タングステン

アーレン商會主談

過般來タングステンの話として三井物産の笠原氏や元山の小笠原鑛山の主任等の説を紹介したところ非常に世間の注意を喚起したやうであるから茲にまた京城貞洞在住のアーレン商會主ジョージ、アーレン氏のタングステン談を記す、氏は多年タングステン鑛に就て經驗を有し且つ目下世界に於ける最大の重石需要者たる米國製鋼會社の代表者として朝鮮の重石を買ひ入れつゝある人である、談に曰く

▲重石の種々

私は昨秋以來京城に店を有ちましたが私の當地に來た目的は決して鑛山業者になる爲めでもなくまた

◇鑛山の投資者に　なる爲めでもありません、唯だタングステン鑛石の買入れのみを目的として來ました、朝鮮も昨年私の來た時分には未だ左程にもなかつたやうですが近來は又非常にタングステン熱が昂まつて來たやうです、今日のやうに隱れたる朝鮮の地下の富が盛んに内地人の手によつて掘り出されつゝあるといふ事は國家の爲めに洵に慶賀すべき事だと思ひます併しタングステンに就いては往々にして一つの誤りが大なる誤りを生じ得へますから私も御質問に對し一言お話し致しませう、元來タングステンの名稱はタングステン鑛石から採られるところの黄色の金屬を指し又はタングステンが採られる處の鑛石を呼んで居ます、普通タングステン鑛石と稱するものの中には實に四種の異つたものがあります、例へば忠州地方から出るフエブライト重石、主として滿州地方から出るウォルフラマイト重石

◇青陽鑛山の鑛區　から出る滿俺重石、江原道地方から出るストルザイト重石等がその代表したものでありませう、猶ほ此の他に極めて僅かのシーライト重石がありますがこれは殆んど何處に在ると云ふ事を申し兼ねる程で現に忠州から美事な見本が出たといふ話もありますが朝鮮では極めて稀れのやうに思はれます、右の中ストルザイト重石といふのは品質が極めて劣惡で且つ選鑛に非常に骨の折れる鑛石です、それに又多量の錫及び鉛を含むで居りますから注意しなくてはなりません、私の考へでは忠州地方に出る重石鑛は何れも皆人夫の手で選鑛し且つ極めて小規模の事業で能きるやうですから今の間に充分採掘せられるが好からうと思ひます併しながら今日重石鑛山の買收に狂奔せられつゝある人々に御承知して戴きたいことは今日の暴騰せる重石相場なるものは詰り平時の相場よりも約

◇十倍位ゐの高價　となつて居るといふ一事であります、故に不日歐洲の干戈戢まると共に現時の天井相場は急轉直下して暴落を來すであらうと思はれます、從つて必ずや現時の人夫の手による採鑛經營法が算盤球に合はぬ時代が出現するだらうと思はれます（續く）

轉居
京城仁寺洞百三十六番地
辯護士　安住時太郎
電話四一四八二番

新東京式化粧法　レート

東京の春の女の　美しさ妍媚さはまた一入でムいますが、殊にチラと見たゞけで幻現のやうに眼に殘り、忘うしても忘れ兼ねるやうな美しい方がありまず。一言に申せば、肌理が細かく、色艶が良く、羽二重のやうに綺麗な滑浄した肌を透して、活々とした血色がほの見えて、一目で東京式美人とは斯うした方のことであらうと頷かれる程でムいます。實際、近頃は新東京式の化粧法が廣く流行して參りました結果、恁んな

垢ぬけした美人　を多勢見受けるやうになりました。新東京式の化粧法と申せば面倒なお化粧のやうに聞こえますが、然程のものではムいません。新様に素顔の美しい方は皆、平生レート洗粉で洗つた後で乳白化粧水レートをお塗けになりますが、中にはお顏の色艶の悪い方はクレームレートをお塗けになるので、只これだけで生れ變つたやうに垢ぬけした肌合となるのでムいます。而して、白粉は勿論レート白粉で、レート白粉が

新東京式の白粉　と申されますのは、第一此の白粉に塵毛程の錆分もないのは素よりのこと、第二に白粉の分子が細かいので附も伸も自由自在で、第三に落着が美事でお粧が手際よく出來上り、第四にお粧に斑の出ぬばかりでなく化粧崩れもせず、第五に白粉の質が變ることか、色が變ることか、乾固ることか云ふことがないので白粉が無駄にならず、何れの點から見ても、恁んな完全な白粉は他に求められぬからでムいますが、其上に

馥郁とした芳香　はレート獨特のもので、幹と艶とを兼ね然かも上品な化粧料を貴ぶ新東京式の化粧にレート白粉が專用されるのは疑を容れぬ所でムいます。因みにレート白粉には煉、固煉、水、粉、紙、打、自然色等皆完備つて居り、白粉下にはレートヂエリー、白粉の溶水には透明化粧水レートがムいまして濃も淡も、粋にも艶にも上品にも、思の儘に粧れますので、レートは實に新東京式の化粧に特有の化粧料でムいます。

苗木大安賣
苹果　一年生　二年生　壹圓二十
梨　一年生　二圓五十
桃、柿、葡萄、桐、桐根
アカシヤ苗及種子　壹斗十五圓
生花用植木
五種壹組　小包料共金壹圓
金柾木、朝鮮槇、香花、貝塚、ユブ木
仁川仲町　万苗園

Mゴムマリ
最優良品
三田土ゴム製造合名會社製造
發賣元　飯田商店

實費分讓　目錄無代進呈
京城西大門外竹添町二丁目
東京　千草園分園

愈々春風春水の折柄四方のお得意様方いよ／＼御健勝に存上候柳の芽も吹き櫻花咲き桃李の花の咲ひを見る時節の中を存じ候まゝ何卒新春の御行樂にお伴させ被下度候樣願入奉り候先は時候の御挨拶かた／＼御願まであら／＼可祝
京城旭町二丁目
電話二〇九番
梅家席
大助　小勇
〇〇　八千代
力奴　奴
梅若　梅子
秀勇　光春

山岸祐太郎長男祐吉儀昨九日死去仕候間生前辱知諸賢に謹告仕候
追而葬儀は明後十二日午後一時途中行列を廢し南山本願寺に於て執行可致候尚放鳥生花の儀は乍勝手堅く御辭退申上候
大正五年四月十日
弟　山岸爲次郎
親戚總代　中島省三

…親豹一頭及び仔豹八頭を捕獲したる功に依り警務總長より金百二十圓道廳より四十圓都合百六十圓の賞金を…

◎青島の徴兵成績

去る一日…第二乙種廿五名丙種四十二名丁種二名戊種三名にして內步兵五十騎兵六…

◎福建省官民獨立贊成

福州特電に依れば福建巡按使兼威武將軍…氏は獨立を宣言するに決心せるも護軍使の意志未だ不明なる爲躊躇し居るものゝ如く一般文武官及び人民は獨立に贊成なり(北京特電)

◎廣東獨立と馮將軍

南京來電に依れば廣東省獨立の報一般に傳播され市民の喜び多大なり將軍馮國璋氏の態度は既に決し居れるも其の發表する迄には尚ほ多少の時日あるべしとの說盛なり(北京特電)

◎獨勃軍の攻勢豫告

華盛頓電に曰く獨逸は希臘に對し獨勃聯合軍は最近マセドニアに於て攻勢を取るべきを豫告せり(倫敦電報)

◎露艦突擊

露都公報に曰く露國驅逐艦スコギーは黑海に於て敵の一潛航艇に衝角突擊を行ひたり其の場所は過般露國病院船ポルチユカル號が敵潛航艇の爲擊沈されたる附近なり(紐育電報)

◎閑院宮兩殿下

御渡臺の途に上らせらる

畏き邊りより臺灣勸業共進會に差遣の御沙汰ありたる閑院大將宮殿下には智惠子妃殿下御同伴隨員中島御附武官其他を隨へさせられ十一日午前八時三十分東京驛御發車御渡臺の途に上らせられたり尚ほ兩殿下には同夜大阪に御一泊十二日神戶より軍艦肥前に召し御出發來る三十日御歸京あらせらるゝ由(東京特電)

◎佐尉官の進級

十日陸軍に於て佐尉官百餘名の進級ありたり其重なる者左の如し(東京特電)

任陸軍步兵大佐　步兵中佐　奥平俊藏

◎軌制調査會

會長委員の任命

鐵道軌制調査會々長委員十日左の如く仰付けられたり

內閣總理大臣　大隈重信
軌制調査會々長被仰付
鐵道院總裁　添田壽一
同調査會長被仰付

尚ほ同委員には江木內閣書記官長、古川鐵道院副總裁、杉浦森本同院理事、菅原大藏次官、加藤參政官、市來主計局長、山田陸軍次官、田中參謀次長、鈴木海軍次官、山屋軍令次長、町田農商務參政官、湯河遞信次官、木下同參政官仰付けられたり(東京特電)

◎交換所大會

第十三回全國手形交換所組合銀行聯合會は十日午後二時三十分より東京銀行集會所に於て開會、會長に池田謙三氏を選擧し同氏より朝鮮に於…

◎全國商議會頭會議

全國商業會議所會頭會議は十日午前十時農商務省に於て開會中野東京會頭を首め四十六名出席上山次官の挨拶ありたる後河野農相一場の訓示演說を爲し岡商工局長亦一場の演說を爲し正午休憩午後農商務省諮問事項を附議し散會せり(東京特電)

◎銀行局課長任命

十日大藏省銀行局官制公布に付左の如く局長以下の任命ありたり(東京特電)

大藏省書記官兼參事官從五位勳五等　森俊六郎
任大藏省銀行局長(高等官二等)
大藏省事務官正七位　隈埜偵次
任大藏省書記官命普通銀行課長(高等官六等)
大藏省事務官　青木得三
任大藏省書記官命特種銀行課長(高等官六等)

◎軍人後援會朝鮮支會發會式

十一日朝鮮ホテルに於て

帝國軍人後援會朝鮮支會發會式は既報の如く十一日午後二時半より朝鮮ホテル構內に於て開催せられたり前日の强風に引換へ風靜かに暑からず寒からず定刻前より大旭旗翻へるホテル大門を潜る群衆は踵を接し流石に廣き構內に溢れ開會の時刻を待ち劍光帽影春日に燦として時ならぬ賑を呈せり三時を少し過ぐる頃寺內總督來場し二時半場の一隅に爆竹の響を合圖に一同會場に入る宇佐美支會副總長は立つて開會を宣し次で山縣支會總長壇上に進み式辭の朗讀を終るや同支會發會式の爲特に派遣せられたる伏見總裁宮殿下御名代小原陸軍少將は會衆の敬禮裡に令旨を傳達し山縣總長は謹で之が奉答をなし更らに宇佐美副總長より會況の報告あり次で會長大隈首相の祝詞代讀を終るや寺內總督は祝詞を朗讀し畢りて宇佐美副總長は閉式の旨を告げて茲に式を了り第二回の爆竹と共に用意の食堂を開き和氣洋々裡に一同隨意退散せり當日來賓は寺內總督、井口軍司令官を始め總督府側よりは各部長官、局長、課長、其他軍人側よりは古海憲兵司令官、白水軍參謀長、井手主計監を始め其の他及在鮮在鄕軍人上長官以上の人々朝鮮貴族、銀行會社代表者、學校組合員、府協議員、商業會議所議員、實業協會、新聞通信雜誌社員、辯護士會役員其他有志等にして目下滯京中の各道長官、各道警務部長等も亦參列し五百餘名の多數にて頗る盛會なりき因に同支會の主なる役員は左の如し(各道部會役員略)

(總裁)山縣伊三郎(副總裁)宇佐美勝夫、立花小一郎(主幹)[illegible]

◎警務部長會同(第一日)

各道警務部長憲兵隊長會同第一日は十一日午前九時總督府第二會議室に開催寺內總督、山縣政務總監以下各部長官、局長、古海憲兵隊司令官、所屬官署長官、局長等參列し諮問事項の答申あり正午休憩の上午後は憲兵隊司令部會議に參集、意見の質議及び希望事項の開陳ありたり

◎白水參謀長東上

軍參謀長陸軍少將白水淡氏は參謀長會議列席の爲め十五日午後七時五十分龍山發列車にて出發東上の筈なり歸期は多分來月十日頃ならん

◎小原少將入京

軍人後援會理事陸軍少將小原正恒氏は十一日京城に於て發會式を擧げらるゝ軍人後援會朝鮮分會に對する伏見總裁宮殿下の令旨を携へ十日午後九時南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに入りたり

◎佐藤參謀長巡視

第九師團參謀長步兵大佐佐藤小次郎氏は既報の如く管內巡視の爲め十一日午前九時三十三分龍山驛發元山に赴けり

◎三大尉の歷訪

新設第十九師團副官宮地大尉參謀山崎大尉副官大森中尉は先發著任したるが十一日京龍の重なる官衙會社を歷訪したり

◎辭令

四月八日附を以て左の如く辭令ありたり

京城女子高等普通學校教諭　小松久夫
任平壤女子高等普通學校教諭　叙高等官七等
總督府技師　山岡元一
兼任京城工業專門學校教授　叙高等官四等

◎吉野博士市內觀察

入京中の吉野法學博士は十一日午前より二三知名の朝鮮人と會談し其より中央學校を視察し更に午後二時より瀧戶醫學士と自動車を驅て工業傳習所、醫學專門學校、培材高等學堂、女子高等普通學校、京城高等普通學校、京城專修學校等を視察したり

◎加藤經理課長歸任

鐵道局經理課長加藤正美氏は橋梁其他鐵材注文に就き打合せの爲め枝光へ出張中なりしが十日午後八時五十分龍山著列車にて歸任せり

◎職員研修會休會

十二日は…諸府道職員研修會…の爲め會員…休會することゝなれり

◎仁川經濟會例會

仁川經濟會例會は十日午後八時より仁川俱樂部樓上に於て開催出席上…鐵道協會…

◎萩谷朝鮮新聞社長全快

腎性…に罹され久しく仁川病院に入院加療中なりし朝鮮新聞社長萩谷籌夫氏は全く快癒せるを以て十日退院せりと

群山

▲善行生表彰　群山公立…小學校在學兒童にして品行方正家庭に在りては良く父母に事へ學校に在りては良く教師の指導に從ひ然かも學業成績の優秀なる者に全校の模範たるの故を以て山本校長の推擧に依り…名譽の賞品及び表彰賞狀を授與せらるゝ事となり八日午後一時より同校講堂に於て全校生徒及び父兄職員等參列賞品及び表彰賞狀の傳達式を擧行したり

▲前署長出發　群山前署長原龍栖氏は退職後病症重態となり之を極度に心痛せられたる病症俄に重態となり遂に去月逝去せらるゝの不幸に會せるも原氏は其後病勢漸次輕快したるを以て家族を引纏め愈十一日群山發一番列車にて內地に向け出發せられたるが當分は別府溫泉に滯留靜養すべしと

▲宗像次席轉任　朝鮮銀行群山出張所次席として多年群山經濟界に盡瘁せられたる宗像球夫氏は今回大阪支店に榮轉せらるゝ事となりたるを以て群山官民有志は氏在群中の功勞に報ゆる爲め記念品を贈呈すべしと

大邱

▲白井旅團長著　第四十旅團長白井少將は十日午後四時六分の列車にて著邱せり停車場には堵列隊儀仗隊各官廳員各學校府協議員學校組合會議員各新…

釜山

▲海藻組合設立　…海藻取扱者は九日午後…

…の出迎ひありたり

▲高等女學校入學式　十日午前十時より…新校舍に於て入學式を擧行…

▲矢島試補出張　矢島慶北道試補は九日より五日間の豫定にて…地方視察の爲め…出張せり

▲松木鮮南營業長　…

▲釜山商專表彰　既報の如く釜山公立各學校職員にして同一組合內に於て十年以上の勤續者に對し表彰式を來る十六日釜山商專學校創立十周年祝典に併せ擧行するに當り…

▲在鄕軍人會　在鄕軍人分會長…

▲輸入商組合　…

人事消息

▲木尾虎之助氏(代議士)　十四日夜入京
▲岩崎清次郎氏(五十四聯隊軍醫)　十一日午前…
▲原岩雄氏(成興慈惠醫院醫官)　十一日午前入京朝鮮屋旅館へ
▲本田幸介氏(水原模範場長)　十一日降任
▲森本清氏(釜山醫學士)　十一日午前入京神尾へ
▲鈴木岡島副領事　十一日午前出發歸任
▲原技師(警務總監部)　嚴父の訃に接し郷里山形縣米澤市に向け出發

雜報

▲燐寸は依然沈靜

燐寸は在荷薄の一面取引殆ど皆無…

（商況）

東京株式特電

	十日	大引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

債券現物特電

[illegible]

公債道取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

大阪株式特電

▲正米先念の再發

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

朝鮮物產特電

▲十一日前場

限	寄付	大引
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]

▲一圓方を引下　安全二圓ホス…

▲先行き悲念

▲又一段の低落

◎砂糖の其後

◎絹糸續いて不勢

◎粉米好氣配

▲頗る好人氣

▲二十錢高

◎乾物類稍色めく

▲大阪相場は二十圓

▲荷動は日增に好況

◎新若布は漸落

▲回を逐て漸落

▲七圓五十錢位

下關相場

▲小豆は失張堅らず…
▲大豆は格別狂はず　前報後出廻り

仁川期米

▲十一日前場

▲昨止より七錢安

▲小强

市場零聞

▲前場底强し

▲十錢丁度と跳返

▲稍底强き成行を呈し

▲依然小相場

京城正米

京城雜穀

南大門の廻穀

仁川現物市場

仁川米豆取引所

十一日の六月限

	前場	
寄		[illegible]
二節		[illegible]
三節		[illegible]
四節		[illegible]
五節		[illegible]

賣買取組高

北濱だより

▲株界と金融影響

▲期米目先觀

▲多少下鞘に在り

▲押目は利喰買

▲大手筋試直し來る

▲裏面に又種々畫策

行賀仲買店　吉　仁川海岸町　電話長九一…

(日)マルニチ仲買店　仁川海岸町三丁目一番地　仁川米豆取引所仲買人　電話長二八二番　長二八三番　主任 白川小吉

マ　仁川海岸町　取引所仲買人　確實　迅速　電話一六…

三巴仲買店　仁川米豆取引所仲買人

茶は仁川青島に限る　弊店の特色は　每年五六月新茶時期澤山買入貯藏致置候事故煎茶番茶內地非常なる高値なれ共幸に弊店は品質撰良なる同品持合有之候に付一切値上不仕此際少共御用命被下度願上候　青島商店　御小賣部　電話七〇九番　振替京城六〇九番

演藝案內

大正館　櫻井町　電話八七三

四月七日より臨時特別大興行…

愈跡三日間　初日以來晴雨に不拘滿員を連續せる大好評の「うき世」劇　可憐の少女早苗の運命に一滴の淚を注かれん事を　跡三日間にて當地を去る　好機は再び來らず　大正館

壽座　本町　電話五七八

東京有樂座女優團初日　新派…

黃金館　黃金町四丁目　電話二六三七

壽館　電話一〇五〇

宮本武藏

第五回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

宮本武藏は無念の泪を呑んで一間を立出で 武『山中〳〵、鳥渡來て下さい 平『へエ何か御用で 武『御用ではない一大事出來いたした、只今寢所へ參つた所が見先生斯の如く切腹いたされて居る、最早絕切れたに依て致方もないが、其許お側に居り乍ら氣が附かんといふのは迂濶千萬な話しだ 平『エッ其れは大變な事で 武『何れ是には仔細のある事、就ては石川お切腹したといふ事お世間へ知れると不利益の事があるからどうか世間へ知らさんやうにして貰ひたい、最とも明日私が來て御館を初め御病死の屆けを致し、跡々の仕末も附けんければならんが、明日私が來るまで誰にも見せぬやうに秘して置て下さるやう 平『委細畏まりました、其に申譯もございません手前がお傍に居りまして先生の御生害を心付かんといふのは一生の誤り 武『其は致方もない先生も豫ての御覺悟と相見へる』そこで武藏先生屋敷へ歸つて參りましたが妻女にも話しをせず夜も深更に及んだから其儘寢所へ入りましたが胸中に決する所あり、其夜八刻過る頃父伊織の寢所へ參りました、伊織先生老人の癖で夜中に眠られないから床の中に坐つて書見して居る、廊下に足音が聞えるから刀を引寄せて 伊『誰だ、何者だ 武『父上私でございます 伊『武藏か今頃何で參つた、用事でもあるか 武『深更に御耳を驚かし恐入ります 伊『少々願ひの筋があつて伺ひました 伊『イヽア親子の間で願ひの筋など、申すは容易ならぬ事だ、一體何事である 武『外ではございません明日より三年間お暇を頂戴いたしたく存じます 伊『ハア三年の間暇を與れといふのか 武『御意の如くでございます、此書面を御覽下いますやう』と取出したのは有用巖流の遺書、伊織手に取つて一讀いたし 伊『是は容易ならん大事、武藏其方にも似合はん事をする、何故此遺書を見ながら屋敷へ立歸つて參つた、手を以つて殺さずとも佐々木岸柳の爲めに殺されたも同然、何故富坂の道場へ乘込んで勝負をいたさん、勝ば表看板を引外して軍刀齋先生の妄執を晴らし靈魂を慰さめ、負たならば即座に岸柳を刺違へて相果て武道の意氣地武士の一分を立てない、何故あつて屋敷へ立歸つて來た、父や妻に心を引かされる其方でもあるまい 武『イエ存ずる旨を一通り申上げます、仰の通り即時に道場へ乘込んで岸柳と立合をいたし度はございますが夫は短慮、私の考へには明日富坂の道場へ乘込んで他流仕合を望み、勝てば姓名を明かして表看板を引外し、師の無念を晴らす心得、負けた時には明日より三箇年の間諸國を修業いたし技倆上達いたした上で立歸つて再たび岸柳と立合をいたす心底、其時に猶打勝つ事を得ざれば武道の面目潔よく岸柳と刺違へて相果てます、夫故手前の考へで三年間の御暇を願ひました次第 伊『イヤ恐入つた、どうも昔の人間は氣が短かくて往かん、其方は思慮もあり分別もあり後世畏るべき者だ、然らば三年間の暇を遣はすから油斷なく事をいたせ 武『忝けなう存じます 伊『[illegible]の際には話しをしたか 武『イエ此儀は[illegible]に話しをしたら[illegible]でも諭されまするさ不吉さ存じ、[illegible]には話しは致しません、父上にお話し致す丈納めてございます 伊『道理[illegible] 武『[illegible]千萬八重には俺から話をする[illegible]は八重の名宛になつて居りまする[illegible]貴父からお渡し下さるやうに 伊『宜しい〳〵大切に預かつて置く、中[illegible]もないお勝負をいたす際に決して未練の擧動をいたさんやうに 武『心得ました』そこで父の寢所を立出で武藏は自分の居間へ歸る、妻の八重に控語りをしないといふのは大丈夫の決心、この武藏といふ人は後年日本随一の名を取るだけあつて幼年の中から何處となく凡人と異なつた點がある、幼少から長者の意見にも餘り隨はず自分の思つた事は何處までも貫くといふ風であつた、之は決して悪い事ではない人間には自信の力が強くなくては駄目で、甲者の論にも隨ひ乙者の說にも隨ふ、朝に晩に主義を變へるやうでは息の通つた人間ではない、之は武藏が自重して居るためであります

お聞きなさい

▲副參政官の蕎麥屋　大藏省では紫安副參政官が蕎麥屋を始めたといふので大評判である東京市會議員の伊藤仁太郎君の職業が講談師も振つてゐるが副參政官の蕎麥屋は餘り振い過ぎるのでよく〳〵聞いて見ると斯うだ大藏省の食堂に毎日蕎麥屋が出張してお連の御用を承はつてゐるのだ其男の中に紫安君に瓜二つといふのがゐるので綽名を副參政官と奉つたのだと知れた

四月十三日九星　舊三月十一日戊辰　本命二黑坤建先勝

▲二黑　身晴のたらわ事有る日[illegible]▲三碧[illegible]▲四綠　うかくした事有る日[illegible]▲五黃　迷惑なる相談事有る日[illegible]▲六白[illegible]▲七赤　笑て[illegible]▲八白[illegible]▲九紫[illegible]▲一白　不[illegible]

汽車時間表

[illegible]

宮內省御買上品

▲大變な人氣を引起した

白色美顏水の話

【問】此頃婦人方のお化粧が以前こ違つて、大變に淸新で、如何にも氣持よく美しいお化粧顏の方が多いのは、一體何ういふ譯なので御在ませう。

【答】左樣です。以前はお化粧さいふこ無暗に白ペンキの樣になつたり、斑やじゞ黑くなつたりしたものですが、此頃では那麼舊式なお化粧をなさる方などはまあ餘り御在ませんからです。

【問】では彼麼に美しい氣持のよいお化粧をなさるのに何か新式の六かしいお化粧法でも出來ましたのですか。

【答】はい、否、新式には違ひ御在ませんが、少しも六かしいところでは無く、却つてずつこ勞の無い誠に手輕なお化粧の爲方なので御在ます。

【問】其れは不思議ではは御在ませんか。あの舊式の不完全なお化粧でさへ、さあお化粧こなるこ、チツトやソツトの苦勞ぢや御在ませんのに、此頃の、理想的とも申度い、全でお化粧したこは見えない生れつき色が白いやうな色艶こ白さを有つた、何こも言樣の無いあの美しい薄化粧が、那麼に勞なく出來るもので御在ませうか。

【答】此頃大變な人氣になつて居る白色美顏水さへお用ひになればよいのです。一度お試しになれば直ぐお分りになりますが全く不思議で御在ます。

【問】成程然う仰在れば白色美顏水こいふ名は聞いて居ります、併し那麼に珍しいものが日本で出來るのですか。

【答】それが出來る譯が御在ますんです。白色美顏水は、顧問の丹波山本二博士技師の三藥學士が居られる桃谷研究試驗部で學者方が長い間研究して製へたのですもの外國品にも優る筈で御在ます。從來の水白粉などこ、形は兎も角作用の全で違つた、不思議な薄化粧料も出來ます筈です。白色美顏水は普通の水こ白粉を混ぜた樣な物でなく學者が發見した新規の美容素こ或特種の白粉で出來てる爲生れつき色が白い樣な薄化粧も出來其上皮膚が荒れず、生地まで綺麗になる作用も在ますので、一度使へば何人も感心なさるので御在ます。定価は一瓶二十錢です。

■白色美顏水を創製したる　桃谷研究試驗部

顧問　■丹波藥學博士　■山本醫學博士

專任　■桃谷藥學士　■小磯藥學士　■齋藤藥學士

◎ミツワ石鹼

擔任技師　工學士 藤野太治郎　工學士 越智主一郎

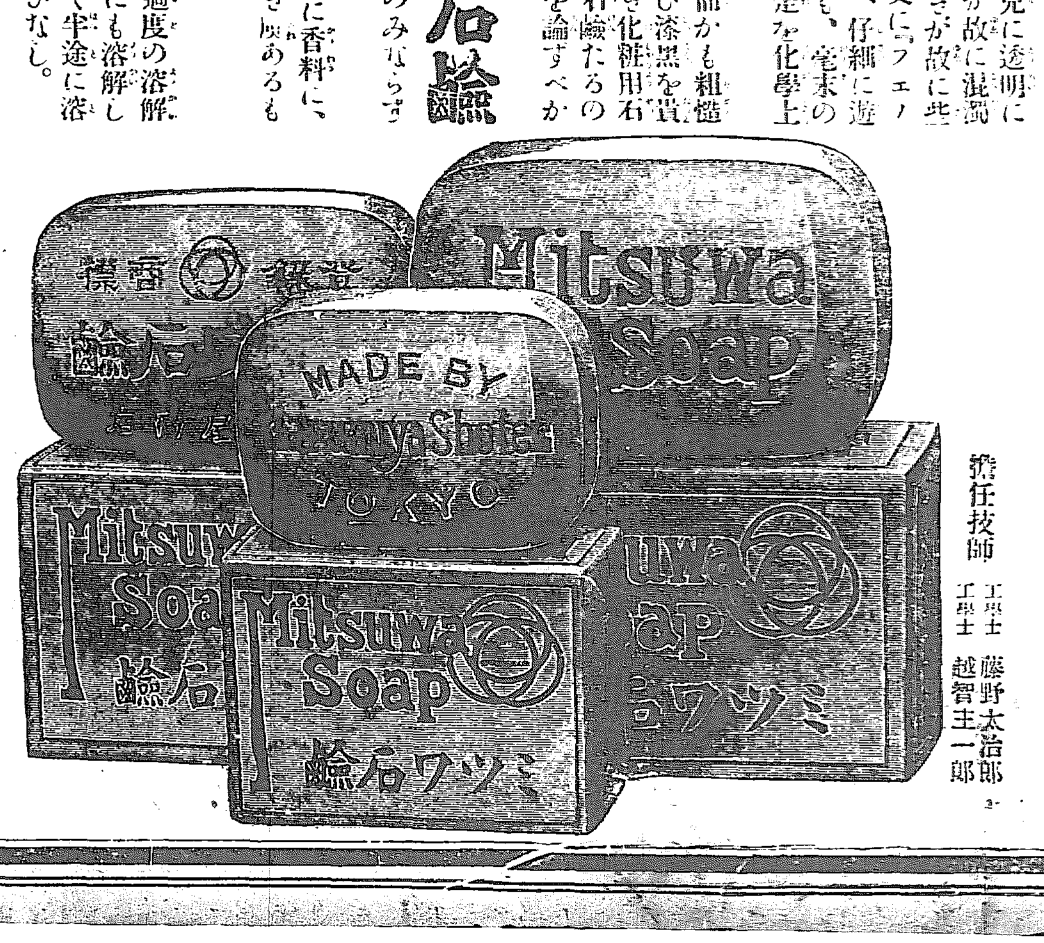
純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の洗滓をも殘留せず、更にフエノールフタレインを以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是れ化學上の純石鹼なりとす。

皮脂の分秘量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論すべからず。

◎ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、若も刺戟を感ずべき廉あるものを用ひず。
一、溫雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衞生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹼なり



▲賣捌＝全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋酒食料品店▼

本舖　ミツワ石鹼　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　肝油ドロップス　御園化粧品

發賣元　登錄商號◎　丸見屋商店

東京市日本橋區橋町四丁目　藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋

電信略號（〇ミヤ）　振替口座東京七一〇〇番　[illegible]

京城日報

第三版

十二日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金七拾五錢
廣告料　五號活字一行金拾錢
發行兼編輯人　印刷人
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

大阪三品　東京期米

經濟戰爭如何

京城日報

今日は歐洲列國間戰爭最中にて、獨逸墺洪國は、完全に封鎖せられて、從來の經濟的活動の幕に閉さる。而して英國及び佛蘭西の財政家及び商業家は、平和回復後に於ても、經濟政策を以て、獨墺を攻擊するの意氣あり。近く將に開かむとする、巴里に於ける聯合國經濟會議の如きは、則ち平和回復後の經濟戰爭の作戰計畫を議する爲に開催するものなりと云ふ。佛國商業會議所の代表者は曰く、聯合國民相結びて商業同盟を成し、獨墺の貿易を拒絕し、且獨墺船舶の聯合諸國の港灣に入るを禁止し、聯合諸國民は、獨墺を離れて其の商工業を組織すべし。聯合國民は原料に富み又資本及び製造力に富めり。此同盟に由りて自己の產業能力を完全に發揚するを得べしと。

而して英吉利は、自由貿易の創國にして、マンチエスターは自由主義の源泉なりと云ふも、其マンチエスター商業會議所は、大多數を以て戰後自由貿易主義復活案を否決したり。且近々更に戰後獨墺二國に對して、禁止的關稅を設くると、及び獨墺船舶の英國及び聯合國の港に入ることを禁止することを決議すべしと云ふ。即ち是れ佛國商業會議所と呼應して、其氣勢を揚ぐる爲に外ならずして、近く當に開かるべき巴里會議なるものは、則ち此思潮の下に其議事方針を定むるものと見ざる可らず。

今日は戰時なり。交戰國民は其敵國に對して甚だ昂れる際なれば、經濟的にも心理的にも、此思潮動くは、固より當然の事にして、間接には一般國民の志氣を鼓舞するに足るものあるべし。此點は至極結構なれども、其事平和回復以後に屬し、且利害損益を專らとする商業上の取引を、豫じめ規定するといふことは、甚だ困難なる理由なきにあらず。且經濟は世界的なり。英露佛三國と、獨墺二國とのみの難事にあらず。特に現在に於て北米合衆國といふ經濟上世界第一の大勢力が、局外中立者なり。歐羅巴にありても、瑞西、和蘭、瑞典、丁抹、諾威は中立國なり。今日獨墺は閉鎖されたりと云ふも、猶ほ中立國を經て其輸出入を爲しつゝあるは、蔽ふべからざるの事實なり。戰爭中は聯合國皆其資力を□墺の交通を遮斷しつゝありとも、猶ほ且其を絕對的に閉鎖するに了はず。戰後武力を用ゐざるに至ては二國を閉鎖せんとするも蓋し行はる可らず。且聯合國自ら利するところなくして、獨り中立國民をして漁夫の利を享けしむるが如きことあらば如何。經濟上の事を謀るものは冷靜鄭重能く其の得失の存する所を究めざる可からず。

隣邦時局の觀察（十一）

布施知足

支那で動亂の種になるものは革命黨よりも土匪が恐ろしい土匪よりも饑饉が恐ろしいと云ふ。此饑饉說は犬養木堂先生得意の持說で我々も嘗てそれを聽かされて感心した事もあるが考へてみると之皆支那で政治の局に當る者の心懸が惡く何か事があると流民が出來流賊が出來ると云ふ遣方をしてゐるからである。支那の遣方を見ると先づ奉天なら奉天に匪徒が蜂起したとする、さうすると討伐隊が繰出されるがさて其討伐隊は直ちに賊の巢窟に踏込んで之を殲滅しようとはしないで唯彼方此方と跟いて廻つて追駈け廻すだけである、沿道の官憲は又其土地の人民を集めて所謂自衞團を作るが之も唯其境を守るだけで賊が自分達の郷里へさへ侵入しなければ外は何處へ往かうと介意はない。丁度日本で乞食狩をする時に神奈川縣の警官は管內の乞食を集めて東京府下に追放つと東京府では又之を驅集めて神奈川縣に追拂ふ、乞食は畢竟東京と神奈川縣とを往つたり來たりしてゐるだけで數も減らなければ無くなりもしない、之と同樣で支那の土匪も討伐隊や地方の自衞團に追立てられて雪崩れながらに次へ次へと移つてゆく、さうすると其間には雪崩に押されて地方の人民が之に附和する、そして土地を離れて轉々して茲に流民と云ふものが出來上る、土地を離れると喰稼ぎが出來ないから勢ひ掠奪を心懸ける、即ち流賊が出來るわけである、饑饉の時は之が一層甚しく食物を求めて土地を離れた流民は到る所で掠奪をして段々流賊と變つてゆく、そして之を遮り留める地方の官憲も之を討伐する政府の兵隊も徒らに境を守り又は目的なしに追廻すといふだけで根本的に之を剿滅する方針を採らないから追廻せば追廻す程雪崩の勢ひは強くなつて左樣此樣する間に到底始末にいけなくなつて仕舞ふ、內藤湖南博士は此有樣を喩へて初は小さな雪の塊を轉がし轉がしする間に段々大きな雪達磨になつて非常な勢で山坂を迸下るのに比べてあるが如何にも旨く喩へ得てゐると謂ふべしである、現に一昨年の白狼の亂が矢張り此流儀で初は湖北の一隅に起つた匪賊白狼の一隊は河南安徽から更に湖北陝西に亙つて跳梁を極め段芝貴倪嗣冲張勳など有數の將軍連を翻弄して八月首領白狼が河南の許州で病歿するまで前後九箇月ばかりの間支那の中原に大騷動を引起した、元々白狼の手下と云ふのはそんな大したものでは無いのにそれが此樣に大事になつたのは畢竟到る所で流民が加はつて流賊となりそして討伐隊は徒らに之を追廻してばかり居たからである、そこで考へて見ると支那をもつと確固した邦にするにはどうしても先づ政治の局に當る者の心懸から改めて往かなければ駄目である、幸に交通の便は年々に開けて物資の供給は餘程自由になるから此方面から饑饉の時などに流民の出來る事は少くなつた、此上政治家の心懸が改まつて流民が出來ても早くそれを救濟して流賊とならないやうにし、萬一流賊になつた時は其場で之を剿滅するやうにしたら動亂の機會は餘程寡くなるに相違ない、匪賊の運命も殊に日本人が面白いものゝやうに思つてゐる馬賊などと云ふものゝ運命も專ら此交通の便と爲政家の心懸とでどうでもなり得べきものである。

京城雜筆

山縣生

▲アンダーウッド氏が病の爲め歸國の途に上られし事は記者が近來の遺憾とする所なり。氏はゲール氏と共に長老敎會の重鎭にして、學博く德高く、久しく朝鮮に在住し、深く朝鮮人の事情に通じ、彼等の間に聲望勢力頗る大なる人なり。氏去れるが爲めに朝鮮の宗敎界は少なからぬ損失を受くるならん。

▲記者の聞く所にして誤りなくんば氏は有名なるアンダーウッド印字機製造家の兄なり。若き時兄弟相語りて、弟は實業界に乘り出して富を作り兄は外國に基督敎を傳へて人道の爲めに盡さんと誓ひ、各々其志す所の方面に向ひて共に大なる成功を收めしなりといふ。されば氏は朝鮮に於て活動するに當り、富有なる弟の後援あり、何等後顧の憂なくして能く其力を伸ばすを得たるなりといふ。

▲之等の話を聞くにつけても思ふ、人は各々其長所あり。或人は富を作るに長じ、或人は精神的若くは藝術的活動に從事するに適す。理想を以て見れば富を作るよりも、精神的活動に一生を費すが高貴なるべけれど、總ての人此方面にのみ働くは望むべからざる事なり。さればアンダーウッド氏兄弟の如く、各々其長所に適從し、相倚り相助けて其天職を行ふを得ば如何に幸福ならん。記者も我親近者中に我を後援し得る富人あるを切望すれど、不幸にして親近者は悉く黄金に縁遠き者なるこそ憾みなれ。

▲閑話はさておきて、アンダーウッド氏は以前には排日の傾向を有したりと聞けり。氏の夫人は女醫にして嘗て閔妃に信任されしが、閔妃の變に遭ふや、其悲劇を仕組みし者の中に我國人の加はり居りしより、氏及び夫人は排日の態度を執るに至りしと傳へらる。此說にして眞ならば記者は寧ろ氏に同情せざるを得ず。

▲統監政治に引續き、總督政治の最初に際し、外國宣敎師の間に排日の傾向ありしは否むべからず。然も記者は彼等の此態度の出でたるを不思議とせざる者なり。彼等は全然我國の事情に通せず、我國是を解する能はず、我國の理想を知らず。唯我國を以て一に私利私慾の爲め兵力を以て、弱者を虐ぐる者と誤解したるは無理もなし。况んや當時に於ては朝鮮在住の日本人中には心得違ひの者少なからず、可憐なる鮮人を虐待し欺きて其產を奪ふ者すらあり。宣敎師等が之に同情するは人情なり。弱者たる鮮人に同情し、日人を憎惡したる怪むに足らんや。

▲然しながら今日に於ては、もはや排日的態度を保持する宣敎師は稀に有りて絕えて無しと云ふ可し。彼等は總督政治の如何に公明正大にして、鮮人の福利の如何に增進されたるかを目擊したり。彼等は如何に朝鮮の日本に併合せらるゝの自然の大勢なるかを知れり。我國是も理想も亦彼等に了解されたり。彼等は其態度を改めざるを得ざるなり。

▲彼等は今や誠心を以て我總督政治を助長するに努めつゝあり。アンダーウッド氏の如きは其最なる者の一人にして、氏は近來斷然として其態度を改め、鮮人の向上進步は日本人の助力を得るにあらずんば、到底企て及ぶべからざるを覺り、昨年の冬に日本を研究し、日本語を學ばんが爲め夫人と共に東京に赴き、約三箇月の間病弱の身を以て毎日九時間三時間日本語を學びたり。其努力其熱心誠に敬服するに堪へたり。

▲かくて歸り來りて將に大に日鮮人の融和の爲めに働かんとするの時、病の爲めに歸國せざるを得ざるに至りしは氏にとりて此上なき遺憾ならん。記者も亦氏と提携して同じ目的に向ひて働かんことを期し居たるに此期待は當分諦めとなれり。記者は氏が一日も速に其健康を回復し、再び朝鮮に歸り來りて、大に日鮮人の爲めに働くことを切に祈る者なり。

□我社主催講演會

●演者＝東京帝國大學教授 法學博士 吉野作造氏
●演題＝戰前及戰後の歐洲
●日時＝四月十二日午後四時卅分
●會場＝南山町高等女學校
●來聽　隨意

來聽者へ注意
一、講演は正四時三十分より開始すること
一、靴及護謨草履の外は會場入口にて包紙を用意し置くを以て各自下駄草履等を包みて會場内に携へられたし
一、火災の怖れあるを以て會場内は喫煙禁止のこと
一、滿員の際は不得已入場謝絶するに至るべし

咸北の農業（九）

東拓理事　村田俊彦　（33）

二十萬頭計畫（續）

北鮮人の牛を養ふは、南鮮とは全く其趣を異にす。南鮮に於ては家屋を離れて別に牛小屋を設くるも、北鮮に於ては住家の一部を割いて牛舍とし、座臥飲食の際にも土間を距てゝ人と牛と常に相對して之を爲す。恰かも一家族の感あり。牛の從順なる此に因るか。我國に於ても奧州三春の農家の子女が馬を養ふや、其の之を愛するの趣に於て、北鮮の民の牛に於けるが如しと雖も、內地人は概して動物を取扱ふに甚だ拙なり。之を叱し之を鞭ち、怒氣を以て之に臨む。動物自ら其の氣を受けて從順ならんと欲するも得ざるなり。外國に於て溫良たりし馬も、我國に來りて悍馬となるもの少からず。殿合北鮮人の如く飼養せずと雖も、英國に於ても、露國に於ても、支那に於ても、動物を遇するに愛を以てす。故に能く手馴る、且銳敏にして、而も溫良なる馬を產することを得るなり。高橋博士印度の奧地より歸りし時、余に語りて曰く、我國にありては人動物に對し之を虐け、又は之に嘲戲するの風あるが如し。然るに古來印度に於ては然らず。天霽れ日麗に風自ら涼しき時、牛羊草を食みて綠野を徘徊す。牛の徘徊するや草間の小蟲驚いて飛ぶ、小鳥之を知りて牛背又は牛側に集まり、其飛ぶを待て啄む。牛亦小鳥の爲めに蟲を驅出するに似たり。小兒亦毫も之を妨げ之を虐げず。寧ろ喜て之を眺むるに似たり。即ち人と動物、動物と動物、和氣藹然として互に相助くる趣ありと。動物使役の點に就ては我國人鑑みる所無かるべからず。

咸北に於ける牛の數は、大正三年末に於て九萬七千餘頭にして、農家一戶當平均飼育數一頭四分強に當ると云ふ。道廳に於ては目下牧牛を獎勵し、其品種を改良するのみならず、農家の副業たる小仕掛主義に依り、今後十箇年を期し、總頭數を二十萬頭に達せしめん計畫なりと云ふ。其販路消費の方面に於ても、深く慮らるゝ所あるが如し。千年後の成績期して待つべきなり。朝鮮の產業を發達せしむるには、集約法に依らざるべからず。甲地に子、乙地に丑、丙地に寅、丁地に卯と云ふが如く、唯物のみを見て之を耕し之を興さば、自ら販賣に不便を來すべし。咸北の牛の如きは其憂無きなり。

□一句づつ（五の日十の日會吟草）

○老早き欅洞ろに囀れり　烏堂
○囀りの椿岡海荒るゝかな　目池

京城吟

忍月

○北嶺は尖り南山は圓き霞かな
昌德宮秘苑にて
○綿に想ひ目に仰ぐ松の鶴雁ら
明月館にて
○宮商の緩ぶも可なり夜半の春
○律ありて呂の無き女器の春
欣堂が妓生の繪に
○見送りていつ又おじやるぞと朧哉

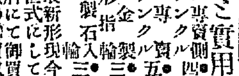
購買入札
第一號　木炭六萬三千八百貫
第二號　松薪五萬六千百貫
第三號　石炭（塊炭）三百五十噸
右各號每ニ購入ス詳細ハ大正五年四月十二日以後ノ總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

購買入札
一　美濃白紙六拾八萬枚外三十點
二　美濃白紙四萬八千枚外四十一點
三　美濃白紙貳萬枚外六十二點
右各號每ニ購入ス詳細ハ大正五年四月十二日以後ノ總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

購買
玄米、精米、大麥、裸麥、藁、詳細ハ四月十二日以降ノ朝鮮官報ニ在リ
龍山陸軍倉庫

株式名義書換停止
本月貳十五日ヨリ五月一日株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス
大正五年四月
東洋拓殖株式會社

學生用ご實用時計



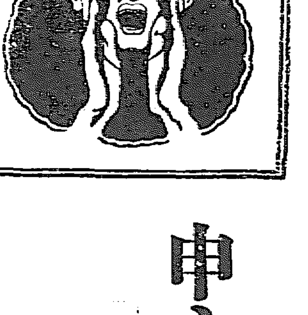
●ニッケル專賣側十六形アンクル　四圓五十錢
●銀側十六形アンクル專賣　五圓八十錢
●十八形金製　三圓五十錢
●藤花形指輪　三圓八十錢
●十八金石入指輪
右時計は最新形現今流行品也
指輪は當世式にして値段は御意に
同樣御小賣店にて御買上より三
割方御徵候又は他品交換す
適せざる時は返金又は他品交換す
貴金屬時計賣買
大阪市南區瓦屋町壹番地一九
金銀白金地
西畑商舖

第六十二版賣切　第六十三版出來
德富蘆花著
縮刷　思出の記
總クロース上製　三六版六三〇頁　定價六十五錢　郵稅八錢
蘆花氏幾多著作中の隨一長編にして一大傑作
體裁清楚印刷鮮明青年男女諸君の絕好伴侶
發賣所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

觀賞樹　山林樹苗　果樹
本町二丁目に花卉、盆栽、種子の出張賣店あり
造庭請負、植木職供給、其他園藝一般事業
吉野櫻、八重櫻、ニセアカシヤ、赤、黑松、桑、各種柏葉、朝鮮槇、同楓、各種、玉伊吹、各種、苹果、梨、葡萄、一行院楓、立田楓、白柏槇
京城植物園　東大門內　電話一四五

警務總監部衞生課　北村精澄氏著
朝鮮衞生法規類集
四六判紙數八百卅頁上製　金八拾錢　郵稅六錢
第一編　衞生行政機關
第二編　保健
第三編　防疫
發賣　京城　斯道館

大日本麥酒



申し上げ候
飲んでうまく酔ふて快く
サッポロ、アサヒ、ヱビスビールの特色に候
斯界唯一の名實を具備せる
國產ビールは
江湖の稱讚絕頂に達し候
サッポロビール
アサヒビール
ヱビスビール
大日本麥酒株式會社京城出張所
■目下朝鮮全道及安東縣に亘り大景品附賣出中

東京期米　（高値）（安値）十一圓〆九錢　十一圓丁度　出來高　一萬四千七百石

○南北妥協終に不可能？

帝政賛成を耻づ＝北方畫策無し

廣東獨立に就き北京政府側にては之が爲め却つて南北の妥協を速かならしむるものありと云ひ居れど其の實確たる畫策なく加へて討伐軍隊の軍費にも乏しく唯昨今のところにては未だ獨立せざる各省が相踵で獨立せざる援力を盡す外他に途無き有樣なり現に四川の如きは南方に同情し北方に取りては形勢日に〳〵非にして浙江省の如きも怪しむ可き點少なからず有力なる商官は最早袁總統の退職の外南北の妥協は絕對に不可能とさへ斷言しつゝあり去れば北京政府部内にても或る者は帝政賛成を主張するを恥ぢ其の生命を保全せんが爲め南方に款を通じ機密を漏し居れるものすらある有樣にて黎元洪、徐世昌、段祺瑞の如きも眞面目に時局を捨敢せんとする意無きもの〻如し（北京特電）

○英紙特派員の時局評

倫敦デーリーテレグラフ北京特派員シンプソン氏はガゼットに寄稿して曰く日本の障碍物は東洋に於ける英國人の反日本思想なり獨墺兩國が支那に外交官を增派するは南方を交戰團體と認むる準備なり日本は袁總統の損害に關せず四國の政策如何に關せず自國の進まんとする進路に突出するを可とすと（北京特電）

昭憲皇太后二周年祭

十一日は昭憲皇太后崩御後早くも御二周年祭に相當するを以て宮中皇靈殿に於ては午前九時卅分九條掌典長以下式部官著床伏見宮閑院宮其他の各宮殿下には御正裝にて御參進神樂歌奏樂裡に御開扉神饌幣物を供し九條掌典長祝詞を奏し　天皇陛下には大元帥の御正裝にて出御親しく御拜禮の後入御遊ばされ次で御參列の各皇族殿下以下參列諸員拜禮再び神樂の歌奏中に幣饌を撤し御扉を閉し斯くて御祭儀を終了あらせられたり（東京特電）

○龍の不人望と岑の都督

香港來電に據れば廣東人は龍濟光不人望の結果岑春煊を都督に推薦し龍は兵を率ゐて出征するに至るべしと（上海特電）

○ミューズ地方戰鬪激烈

佛軍オークール東北の戰線聯續

九日午後巴里に於て發表されたる公報に曰くミューズ西方に於ては終日アヴオクール、キコミエールの佛軍前線に於て激烈なる戰鬪行はる佛軍は八日夜ベタンクール突出地點を豫定の計畫に依り撤退せるが之が爲めアヴオクールより三〇四高地の西方なる森林坂路を過ぎてオークールの東北なるフオジユ河南岸に至る戰線を聯續せしめ尙此の線をベタンクール南方エスネス、ベタンクール、チヤタンクール十字路の各陣地に聯繫せしむるを得たり此の戰線に對して敵は激烈なる攻擊を行ひ佛軍又猛烈に抵抗せり（倫敦電報）

○獨軍佛の塹壕に突擊す

獨逸公報に據れば獨軍は二九五高地に於て佛軍の塹壕五百碼の地點に突擊しベタンクールを退却中なる佛軍と戰ひ五百十四名を捕虜となし十五門の加農砲を鹵獲しアヴオクールの北方にて二百七十六名を捕虜とせりと（桑港電報）

○ドーモシ地方佛軍益前進

[illegible]

○贈位御沙汰

佐賀の變及び西南の役に座したる國士に對し十一日贈位の御沙汰ありたり其の主なる者左の如し（東京特電）

贈正四位（特旨）　故　江藤新平
　　　　　　　　　故　島義勇
贈從四位（特旨）　故　前原一誠
　　　　　　　　　故　桐野利秋
贈正五位（特旨）　故　篠原國幹

◉新軍旗親授式

十八日宮中にて執行

新設師團の聯隊に對する新聯隊旗は來る十八日宮中にて御親授ある趣にて同日迄に出頭すべき陸軍大臣よりの命あり第七十九聯隊よりは旗手山下少尉、第八十聯隊よりは旗手鄕木少尉各下士四名宛を隨へ近日中に出發東上すべし

◉式辭祝詞

軍人後援會に於ける

▲山縣總長式辭

軍人をして後顧の憂なからしむるは則ち其の武勇を發揮せしむる所以なり之を既往に徵するに戰時に於ける國民の後援は極めて熱烈にして其の效果偉大なりしも平和克復後此の誠漸次冷却したるの觀あり抑軍人は國家の干城にして一死公に殉するも其の固より其の本分なりと雖も一般國民も亦苦樂を分ち治に居て亂を忘れず以て外侮を禦がざる可らず玆に於てか我帝國軍人後援會は組織せられ現役兵丁の家族、病國軍人の遺族及び癈兵の生計困難なる者を救護慰安するの機關となせり顧ふに日露戰役以降四圍の情態は倍々軍備の充實を促し獨り現役軍人を增加するの必要あるのみならず一般國民も亦尙武思想を自發して國家萬一の需めに應ずるの覺悟を要するに至れり斯の如くにして在鄕軍人會は創設せられ斯の目的とする所は倶に我帝國を泰山の安きに置かむとするに在り故に軍人後援會は是等各機關と相並馳して擧國皆兵の精神を貫徹せざる可らず今や朝鮮に於ては新に二箇師團を常設し且在鄕軍人の移住する者亦次第に增加し救護慰安の必要焦眉に迫れり依て本會の事業を擴張して支會を半島に創設し其の收支は之を特別會計となし支會自から獨立して半島軍人の後援たらむことを期す任重うして路遠し廣く江湖諸子の扶翼を仰がずんば其の發達を企圖すべからず諸子希くは本會の爲め奉公の至誠を以て盡力あらむことを

▲大隈會長祝詞

維時大正五年四月十一日本會朝鮮支會發會の式を擧ぐ欣躍何ぞ堪へむ蓋し支會の成立克く今日あるを致せるは總督閣下の周全なる援助と支會總長以下役員各位の熱誠なる努力とに因るものにして余の深く感謝する所なり

夫れ本會の事業たるや國民皆兵の精神に基き軍人を後援して之をして後顧の憂なからしめ以て倍々其の義勇心を發揮せしむるにあり乃ち知る本會の盛衰は國防の堅實を致す所以なることを吾人の責任の重きこと思ふべきなり

今や歐洲の大戰は吾人をして國軍の精鋭ならんを欲すること轉た切なるものあり加ふるに隣邦の形勢も亦日に危殆に赴き吾人をして之に備ふるの緊要なる所なきを得ざらしむ本會事業の如き多言を須ゐむや且つ夫れ朝鮮に於ける本會趣旨の普及は新附の民をして奕世の誠をなさしむる所以の道にして其の關係する所最も大なり爰に良辰をトして發會の式を擧ぐるに當り總裁宮殿下特に優渥なる令旨を賜ふ重信之を會長に承く感激の至りに勝ふるなし冀くば諸君と共に一層奮勵して以て本會事業の大成を期せむ

▲寺內總督祝詞

國家一日も兵備無かるべからず兵備を修するは國權を擁護し平和を保障する所以にして兵備弛廢し國家興隆するものは古今未だ曾て有らざるなり我帝國軍人は皇帝を奉戴して國權を擁護し一朝事あらば妻子を棄て身命を擲ち以て奉公の至誠を盡すべきは固より其の本分なりと雖も國民一致して後顧の患を除き士氣を激勵するに非ずんば能く戰勝を收むる難し軍人後援會の目的は寔に玆に在り今や朝鮮に二箇師團を設定せらるゝの機運に際して帝國軍人後援會の支會を創設し現役及び軍人遺族並に癈兵の生計困難なる者を救護慰安せむとするは聖代の美擧眞に慶すべし但朝鮮は直に大陸に接壤して不斷の軍備特に緊なるを要するは固よりも國民の後援も亦切實なるを要する何時に支會創設の佳辰に參して聊か一言の希望を叙べ其の前途の隆昌ならむことを祝福す

◉山縣總長の謝電

山縣總長は十一日後援會朝鮮支會發會式當日左の電報を大隈會長に送れり

本日發會式を擧行するに方り特に本會理事を差遣はされ令旨を賜はる感激恐懼の至に堪へず謹で御禮申上ぐ

右總裁宮殿下へ言上を乞ふ

◉日露聯絡會議

添田總裁議長推薦

日露聯絡運輸會議は既報の如く東淸、南滿、鮮鐵、鐵道局各代表者列席の上十日午前東京驛樓上ジヤパン、ツーリスト、ビューローにて開會劈頭に添田鐵道院總裁開會の辭を述べ議長に添田總裁を推薦する事とし同日は其儘散會十一日より本會議に入る筈

◉下旬鮮鐵荷動（下）

▲大豆　本品の出荷は前月來大差なく一日平均百三十噸臺を持續せり而して內地直通輸送は依然旺盛にして總數量千四百七十九噸中千九十五噸（七割四分）を占め之れが仕向地は中國九州方面にして門司著の百三十八噸、鹿道著の百十二噸、下關著の九十六噸、博多著の九十二噸等を主なるものとし主要驛發は銀原、仁川發の各百八十九噸、倭館發の六十五噸等なりとす

▲鑛石　出荷益々好況にして前年同期に比し千六百五十四噸の增加を示し尙今後漸次增加の傾向あり

▲穀類　前旬に比し百六十三噸の增加に當り其發驛別數量を擧ぐれば沙里院發の二百七十四噸を最とし黃州發の八十七噸、倭館發の八十三噸等之に次ぐ

▲豆粕　安東縣の出荷旺盛にして前旬に比し五百二十二噸、前年同期に比し二百八十九噸の增加に當れり之れ前年に於ては本品は早くも三月上旬より多少の出荷ありしも本年は本旬に入りて始めて出荷を見たるが爲めにして今後當分は出荷盛況を持續すべし而して其著驛別數量を擧ぐれば內地直通輸送を最とし門司著の四百八噸、下關著の百四十四噸を主なるものとし金堤著の五十二噸、水原著の四十噸等之に亞ぐ

▲苗木　時節の關係上出荷殷賑にして總數量四百噸を算し前年に比し卅八噸の增加に當れり而して主なる發驛は永登浦、三浪津、往十里等にして仕向地は大邱附近を最とし開城、新幕地方及び元山方面之に亞げり

▲要之　本旬の貨物輸送は頗る好況にして前年同期に比し米及び鹽に於ては多大の減少を示したるも他は概ね進況を示し殊に石炭、鑛石、木材、豆粕等の出荷殷盛なりしかば豫期の成績を擧ぐるを得たりと

◉是れから大に北鮮研究だ

＝白水新參謀長＝

新任鮮駐剳軍參謀長白水陸軍少將は流石に眞新しい參謀肩章の金モールを光らせ乍ら軍司令部參謀長官で記者を引見する—「二箇師團が新設された當然の結果として派遣隊が自然消滅するのだから何れは北鮮道か臺灣にでも遣られる事かと思つてゐたら鄙上りをする事になつた派遣隊司令官として大邱に居つた關係から南朝鮮は廣く步いても見たし多少解つたが北鮮の事情は謎張り解らない是れからは大に北方朝鮮の研究をやらうと思ふ。何れ參謀長會議からでも歸つてから悠つくり談ずる事にしよう、大邱にゐた時以上に今後益々何分宜敷く」

道長官歷訪

急務は先づ治山に在り

小原忠南道長官談

▲地方行政は總督の主旨に遵據す可きこと勿論にして予は前長官の方針を襲踏し[illegible]擴張するものにあらざるも、新任以來管內の狀勢に鑑み先づ其大問題より片附けむとすることを期し之に向つて盡力しつゝあり、行政の本義は率先なるべからず、[illegible]、但し小問題なりとて之を閑却するが如きは素より不可なれば、之れにのみ拘泥するは更に不可なるべし、さらば現下の大問題は如何と云へば[illegible]山林、治水、國有未墾地の開墾[illegible]整理等なり、此の內先にす可きは治山の道にして之れ治水の根本なれば予は[illegible]管內の植林に[illegible]一言せん

▲京釜沿線中最も峻嶮にして山拓重疊せるは本道管內なれば余は第一に此地方約一萬二千町步の山野に對して植林の範を垂れむことを期し、本年度以降十年計畫に依りて年々一千二百町步の地積に栽植す可く今年も既にマツ、クリ、クヌギ、ニセアカシア等百數十萬本の苗木を配付し、天安、燕岐、大田の三郡に亙りて植栽せり之に就き予の最も苦慮せるは管內の山野が未調查中に屬し國有民有の區分未だ判明せず其多くは緣故權を主張せる個所なりしより、權利の確定せざる地に識意栽植の勞を吝まざるものありや否や及び栽植後に於ける人民の感情如何の問題なりしも、結果は意外の良成績にて、之れに依り彼等は却つて從來の緣故權を放棄し、共同林若くば部分林たらしむるに至れり

▲如此の整理調查は多大の日子を要するのみならず、民有緣故權の査定は頗る困難にして、人民は多く[illegible]權利を主張して容易に讓らざるを常とするに、苗木の植栽に依りて自ら從來の主張を撤回し之を共同、部分林として經營せんとするに至れるは實に豫想外の現象にして民政上欣賀に堪へざる所なり、

▲殊に共同林は將來面村有となし其財產たらしむるの方針なれば、數十年後に於ては一大財源たる可く、之れに依りて面稅を支辨し更に地方稅、國稅等を拂うて餘りあるに至らば面民の幸福之れに過ぎざる可し

▲余は啻に之を鐵道沿線のみに止めず進むで管內各地に及ぼし、荒廢せる山林を一日も速く靑からしめんことを欲すると共に、各地の人民亦從來の主張を放棄し、共同部分林を經營して將來の幸福を享くるに努めんことを切望に堪へず

◉大邱兵營建築

大邱兵營建築請負工事は大連加藤洋行に落札せり將校宿舍二十棟請負金額五萬二千六百二十圓にて三週以內に工事に著手し十一月三十日までに竣工の筈なりと（大邱）

◉臺灣輕鐵視察

鷲尾鐵道局參事の出張

臺灣製糖、木材其他の關係上輕便鐵道の敷設發達し現に延長五百餘哩に及び本鐵道よりも長き延長を有するに至り正に日本に於る範と成るに足る事世人の熟知する處なるが我朝鮮に於ける鐵道の將來が輕便鐵道の敷設急務を感じ居れる事又一部論者の間に喧しき處なるより鐵道局にては彼此相對し其調查研究を爲すべく幸ひ共進會開催中に就き參事鷲尾弘準氏を派して調查せしむる事と爲りたるが同氏は約一箇月の豫定にて近々出發の豫定なりと

◉東拓勸誘員出發

九州四國方面へ移民勸誘の爲め東拓殖民課の馬場書記は八日芦澤書記は十一日出發したり

◉京釜改良工事入札

目下著々進捗中なる京釜線改良工事の中の一部大邱、新洞間線路は八日鐵道局にて競爭入札に附し合資會社加藤洋行十二萬四千九百五十圓にて落札せり

◉砂金拂下

朝鮮總督官房會計課に於ては砂金約四十匁を拂下ぐる由希望者は十三日午前十時までに同課に出頭現品一覽の上直に入札書差出すべしと

人事消息

▲工藤英一氏（平南道長官）　十二日朝歸任豫定
▲石川義治氏（札幌實業家）　十一日夜入京朝鮮ホテルへ
▲前原孝太郎氏（會社員）　同上

■南言北評■

今秋の米國大統領改選は却々花々しい戰があり相だ▲ルーズベルト氏を前に廻はすウヰルソン氏の作戰は大に見物であらうが▲此頃ウヰルソン氏に對つて一部非難の聲が高くなつた▲其の理由はウヰルソン氏が先月人もあらうにたる一辯護士のブランデス氏を拔擢して聯邦大審院の判事に任命した▲と同時に自家の門弟を陸軍卿に任命して昨今內閣は丸で家の子郞黨の寄り集まりだ▲と云ふが非難の中心らしい▲今度は大分外交攻擊に遇ひ相な揚合さりとはウ氏としては餘り智惠のなさ過ぎる遣り方だ▲米國が獨逸に潜航艇問題を提げ持ちかけても獨逸は馬鹿扱にして居る▲其の馬鹿扱にして居る譯は米國を見縊つて居るからでもあらうが▲獨逸の海軍中には獨米戰爭を希望して居る者が多いからだと云ふ▲其等の言草が面白い第一米國を協商側に入れる而して英國を封鎖して乾干にする▲英國が降參すれば露佛は直ぐ媾和を望む▲其處で三國の軍艦を取り上げて米國を攻める▲米國に抑留中の數十隻の獨逸船を取り返したら米海軍は七倍の敵を引き受ける譯になる▲だから何の事はない米國は一と縮みに縮み上がるに違ひない▲其處で多額の償金をせしめると云ふ段取りだ▲夢としても餘りウマ過ぎるが獨逸人は何處迄も此の樣な事を考へて居るらしい▲イヤ斯う云ふ夢を見て居る內が獨逸も花だらう▲米軍がヴイラを追ひ回して居る處はまるで狐狩見たいな▲ヴイラは偉大なるヂゴマと迄云はれて居る丈け却々米軍の手に了へぬ▲處が此のヴイラの參謀はヴイラが命迄もと打ち込んだ當年十七八歲のセニヨラ、ルツツ、コラール、ドヴイラと云ふ一と息では讀めぬ名の美人の妻君である相な▲米軍が此の美人の作戰に引つ掛けて彼方此方と驅け廻つて居る處は面白い圖だ▲之れだから恐日病に罹るのも御最千萬

○陸軍異動發表期　軍醫總監醫學博士文學博士森林太郎[illegible]

塞司令官陸軍少將鑄方德藏氏は中將に陞進すべしと（東京電報）

從三位勳二等法學博士　花房直三郎
內閣統計局顧問被仰付

[illegible]千圓の輸出超過を示せり而して輸出は生絲殆んど半減し自餘の商品又總じて減退を告げたるに依り三割三分[illegible]

[illegible]賀川代議士死因疑問事件に關し政府與黨側は翠川氏の主治醫及び政友派の機關新聞を告發せり（東京電報）

◉預つた六百圓　慶南馬山新町三丁目居永井雄五郎（二六）は本年一月十八日頃[illegible]を其の儘橫領して消費したる爲め[illegible]山警察署に檢擧されたり

ダリヤとカンナ

本園のダリヤとカンナの種類の豐富なること栽培段別の多きは半島第一位なり其他蔬菜、草花種子、果樹、殖林苗木等定價表無代進呈す

京釜線鳥致院　朝鮮興農園
電話鳥致院三七番　振替京城三二七番

◉セメント一樽ニ付金參拾錢値上

日本セメント株式會社八代支店
土佐セメント株式會社
佐賀セメント株式會社
日本セメント株式會社大川工場
淺野セメント合資會社門司支店
小野田セメント製造株式會社

鑛山用測量器諸機械　京城本町　シノサキ

支部設置

東京國債株式會社朝鮮支部　京城明治町壹丁目四六　電話一五五四番　電信略號（テセン）　振替京城三五二七番
資本金六拾萬圓

營業科目
諸公債有價證券賣買
有價證券及動產不動產擔保貸付
國債、債券、社債並に地方債の引受及其仲介

社長　支部長　阿部[illegible]浩
常務取締役　志水[illegible]英
常務取締役　辻川敬三
顧問　男爵　園田安賢

東京日本橋區本材木町河岸（沙運橋際）
東京國債株式會社

一、本社設立　明治四十三年八月
一、契約高　壹千萬圓餘
一、本社の支部、出張所等は日本全國到る處にあり姉妹關係の東京國債銀行も追て支店開設の見込

日韓書房　新版報告
柳川春葉作　うきよ　定價壹圓三拾錢　送料十錢
茅原華山著　孤獨の悲哀　定價壹圓二拾錢　送料八錢
和田垣謙三著　西遊スケッチ　定價壹圓二拾錢　送料八錢
松崎天民著　人間世間　定價九拾錢　送料八錢
厨川白村著　狂犬　定價七十五錢　送料八錢
京城本町二丁目　[illegible]

三春の行樂!!!
郊外の御散策になくてならぬ
舶來イゾラ魔法瓶

特價　二合七勺入　金一圓八十錢　一合三勺入　金一圓卅五錢
京城本町二丁目
直輸入販賣　熊平支店
電話[illegible]　振替京城[illegible]

新刊雜誌　週讀會
京城本町二　電一三七八　松井松榮堂

ドーモン地方に於て前進を繼續しつゝあり(台敦電報)

◎上海近く獨立

各省獨立宣言頻々たるに際し近々上海も獨立すべしと(東京電報)

[illegible]可く右發表と同時に陸軍砲工學校長陸軍少將武田三郎氏參謀本部第二部長陸軍少將福田雅太郎氏及び由良要[illegible]

[illegible]閣統計局官制改正に伴ひ花房直三郎氏に對し左如く被仰付たり(東京特電)

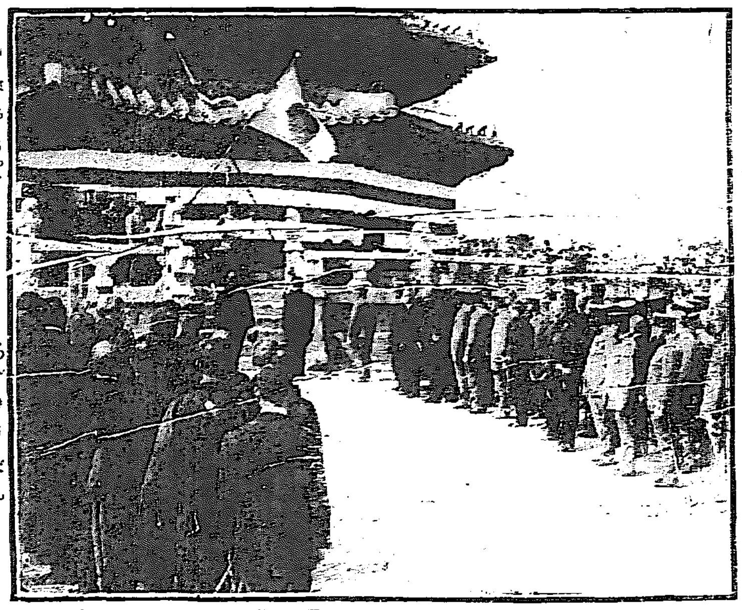
[illegible]二十八萬二千圓輸入一千九百四十八萬九千圓にして差引二百七十九萬三[illegible]

[illegible]依り二割一分の減少を示せり(特電)

◎翠川事件告發

[illegible]郎氏は目下滿鮮視察中なるが來る二十二日大連より入京すべしと

[illegible]鮑天嘯、順天面長泉里の金學永(三二)より賞金として金六百圓を預りたる[illegible]て逃走したるより大邱署にて嚴探中



帝國軍人後援會發會式　伏見御名代小原少將令辭を捧讀す

◎春麗なり圜丘壇

帝國軍人後援會朝鮮支會發會式

帝國軍人並に軍屬の慰問、救恤、授産及び軍事思想の普及獎勵を目的として設立せられ

◆伏見宮貞愛親王殿下を總裁に奉戴する帝國軍人後援會では今回朝鮮に支會を設くる事となつたが十一日を以て朝鮮ホテル後庭にその發會式を擧行した、此の日前日來砂塵を捲いて吹き荒びし狂風も止み春光麗かにホテル後庭の清砂に映じて式場たる圜丘壇上に張り廻されたる紅白の幔幕の微風に飜がへるも長閑である、午後二時半より受付を開始した參會者は總裁宮の令旨を奉持し大隈會長の祝詞を齎らし同會

◆本部より特に差遣された同會理事陸軍少將小原正恒氏を始め森武官、大藤副官、池邊秘書官を隨へたる寺内總督、兒玉秘書官を隨へたる朝鮮支會總長山縣政務總監、井口軍司令官、副總長宇佐美長官、荒井、小宮、池田、關屋、李完用、趙重應、金谷、古城、原田の各評議員、上京滯在中の部會長たる各道長官並びに副部會長たる各道警務部長、及び總督府高等官、古海警務總長、白水軍參謀長以下警務總監部並びに師團將校、町田東拓副總裁、水越鮮銀理事その他銀行會社重役、府協議員、學校組合、商業會議所評議員、赤十字、在郷軍人、各新聞通信社員、權重顯、李夏榮、李完武の各子爵、韓昌洙、金春熙の各男その他の朝鮮貴族等

◆無慮五百有餘名　劉光相影參差として春光に輝き文武百官を一同に集めた觀があつた、やがて二時三十分、第一煙火が氣魂しく開會を報ずるや參會諸員一同圜丘壇に整列、此の時寺内總督は支會主幹小林大佐の案内で小原理事、山縣政務總監、井口軍司令官、宇佐美長官及び陪員一同と共に圜丘壇上に著席、宇佐美長官支會副總長として開會を宣するに次いで山縣政務總監支會總長として式辭を朗讀すれば續いて小原理事は左の令旨を奉讀す

◆諸員敬禮の裡に

令旨

朝鮮支會新に成り本日其發會式を擧ぐるに至りしは予の深く悦ぶ所なり抑も本會事業は尋常慈惠を專とするものゝ比にあらず其趣旨とする所は以て國民をして國防に對する普及責任を自覺せしむべく共利益に軍人をして心を安んじて役に服せしむるのみならざるなり是に於てや余は朝鮮に於ける本會事業の發展に屬望すること極めて大なり幸に此意を體し奮勵努力以て其諸の有終の美を濟せ

大正五年四月十一日

帝國軍人後援會

總裁　貞愛親王

之に對し山縣總長は再び起つて左の奉答詞を述ぶ

奉答詞

茲に帝國軍人後援會朝鮮支會發會式を擧行するに方り特に本會理事の差遣を辱うし令旨を賜はる職員一同恐懼感激の至に堪へず自今以て協力し誓て會務の發展を圖り奮勵台旨に副はむことを期す謹みて奉答す

大正五年四月十一日

帝國軍人後援會朝鮮支會總長

正三位勳一等　山縣伊三郎

之れより宇佐美副總長の會況報告に對する注意があり更に續いて小原理事起つて大隈會長の祝詞を代讀し

◆最後に寺内總督は巨驅を起して別記の如き祝詞を朗讀した、之にて式を終り宇佐美副總長閉會を宣すると同時に食堂開始の爆竹で一同ホテル内の大食堂に入つた、此處では歡談笑語存りに湧いて和氣靄々たるものがあつたが宴半にして總督の發聲で盃を擧げて萬歲を三唱し本會の隆盛を祝つて散會したのは三時半であつた

◎櫻丸關釜連絡船とならん

鐵道連絡船變更

鐵道院にては今回連絡船に二三の變更を加ふる事とせるが其の第一は櫻丸(元義勇艦にして梅が香丸の姉妹船三三〇〇噸餘)借入にて由來同船は

▲非常に不經濟なる[illegible]船腹排底の今日猶借手すら出でずして空しく長崎港内に繫留せらるゝを今回院船に借入れ目下長崎船渠に於て修理を加へつゝあり來る二十四五日頃下旬に回航さるゝを待ち更らに小修繕を施して五月以降關釜連絡船に充つべく又現在の關釜連絡船中對馬丸は汽罐掃除の必要に迫られ新羅丸に至りては入渠修繕の時期となり居れば櫻丸の上航を待つて新羅丸の入渠を見る筈なるが猶僚船の一なる弘濟丸は去つて

▲青森函館間の連絡船たるべく九日北航することに決せり這は從來青函間に使用せられたる會下山丸が時節柄とて其の持主たる鐵道商會に同じ高級なる大阪商船に傭約さるゝ事となりし結果之が補充の爲め差廻さるゝものにて猶別に生玉丸も同航路補充の爲チャーターせられたる由

◎短艇に身を潜めて玄界灘を越えた少年

釜山寶水町稻見萬太郎の長男勘太郎(十七)は茲二箇年前より釜山辨天町龜山菓子店に奉公し市内の各得意先に毎日菓子の配達に從事中内地に渡り一人前の職人にならんと健氣にも思ひ立ち去る五日夜無一物のまゝ主家を飛出し同夜出帆の關釜連絡船高麗丸の棧橋に繫留せるを幸ひ同船に乘組み甲板に吊されたるボートの中に身を潜め身を切る如き玄界の夜嵐に顫へながら夜の目も合はさず漸くにして去る六日朝同船が下關に入港棧橋に繫留するやソツト短艇を拔け出し乘客に紛れ上陸せしも驛員に發見さるゝ處あるより鐵道線路を傳うて構内を脱し市中に行んとせしに遂に土地不案内の爲め一の宮驛に至て迷路くする内日は暮果てゝ如何ともする事能はず再び乘客に紛れて列車に乘り込み下關驛に下車せし處を取押へられたり(門司通信)

◎吉野博士講演の要旨

本社主催吉野博士講演會は愈々本日午後正四時半より南山町高等女學校に於て開會することゝなるが、博士は「戰前及び戰後の歐洲」なる演題の下に於て果して如何なる議論を試みんとする乎、是れ恐らく來聽せんとする各位の豫め知らんと欲する所なるべきを想ひ、博士に請ひて其要旨を左に掲ぐ。

一、近代歐洲外交中心の移動
二、獨逸帝國の統一並に獨逸軍國主義の由來
三、獨逸現帝の世界政策と英國の覺醒
四、三國同盟三國協商對立關係の最近の變調及戰亂の勃發
五、戰亂の終局並に勝敗の豫想
六、戰後に於ける軍國主義の運命
七、戰後に於ける平和主義の運命
八、戰後に於ける日本の國際的地位

◎二晝夜に亘つた山火事

咸南新興郡元平社新底里所在の國有林より三月二十八日午後六時頃出火したるより所轄憲兵所員は里民と共に消防に努めしも同日より翌々三十日午後四時迄同二晝夜燃えつゞきて辛くも鎭火せり此の面積十七町步損害約二百圓なりと

◎我家に放火す

黄海道海州郡海州面北幸町崔成義の雇人李順心は(二六)崔成義と折合惡しく成義が他に轉居せんと同郡西邊面に四百七十圓を出金して一家を買入れ修理中を探知したる順心は三月十八日午後八時頃自宅の便所に放火したるも即時消止められ僅に三間の放火をなしたること發覺して海州署に檢擧されたり

◎青島神社工事

竣成は六月中旬

軍政署の手にて建設さるべき青島神社の土工々事は有馬組の請負にて著々進捗し竣工期は七月二十日までの豫定なるも此分にては雨期前六月中頃までには終了を見るべく其上同署建築課にて社殿の建築に著手の筈なるが同社は明治神宮を奉建することに略決定したりと(青島)

◎大學生毆らる

大邱東城町一丁目居住傘販賣商佐藤達二(二七)は同地東雲町練兵場に於て四月二日午後四時頃同地居住の內地人一團と共に野球の試合中見物人多數の中にありし東京明治大學生なる大邱町治町一丁目尹洪烈は他の鮮人等と共に野球團に喰つて掛りしより居合せたる前記佐藤はバットを以て尹を兩三回毆り飛ばして一場の騷動を惹起せしも大邱署員出張して取鎭めたり

◎二名燒死を遂ぐ

本月六日午前十時半頃江原道鷹珍郡三和面井林里に火災あり燒失戶數十戶損害約一千六百圓にて午後零時半鎭火せしが鮮人二名牛一頭燒死せり原因其他に就ては目下取調中

◎流浪中に竊盜

愛知縣東春日井郡新川町生れ當時慶南蔚山郡方魚津居住堀田[illegible](二三)は三月三十日頃大邱に流れ來り同地東門町米穀商[illegible]方に忍び入りて黑斜子羽織外廿八點二百四十圓を竊取し

都市美觀

◎京城將來の建築

中村與資平氏談

文野貧富

家屋が人生に不可缺である事は今更說く必要はないが文化の進步と共に其の建築法も亦益々進步して底止する處が無い有樣である而して其の建築の巧拙は直に一見して其の國家又は個人の文野貧富を識別し得る程で而して住宅は各人各個の嗜好及び利便に由り樣々の注文が有るが都市に於ける建築は個人本位でなく都市を本位として建築しなければ成らぬ即ち都市の繁榮、利便、美觀、衛生、經濟、永久と云ふ樣な上から見て最も之れに適當した建築法を採用して之れに由つて統一された建築を爲さなければならぬ

元來都市

と云ふものは一つの軍隊を見た樣なものであるから統一されればされる程外觀も美であるし內容も充實した力强い者となる例へば軍隊の如きものも其の服裝が區々で法被を著た者や羽織袴の者や背廣を著た者なぞで有つたならば第一外觀が甚しく見苦しい許でなく其の動作も不便であり且つ

多種多樣

の被服材料が必要となつて來るから其の材料購入及び製作に比較的多額の費を要し甚だしく不經濟である即ち外觀の美を損ずる許りでなく內容も亦著しく薄弱なものになる若し京城等に於ても建築條例でも施行されて皆な煉瓦又は石材で建築される樣になれば需用者の多くなると同時に煉瓦なども現在より非常に價が安くなる、元來土を以て拵へて

最も安價

に供給し得べき建築材料の煉瓦が現今では却つて木材其他の材料に由る建築よりも不廉であると云ふのも畢竟其の需要額が甚だ多からずして未だ其の製造が甚だ盛んでないからである

大理石の

如きも現今にては裝飾品として必要だけ少し宛山から切り出すと云ふ風があるから甚だ不廉であるが若し之れを盛んに建築に用ひ各風呂場を始め各戶の臺所店先き等を築造する事になれば大理石なども山では殆ど價值を有せぬ位であるから機械を据付けて盛んに切り出す樣に成れば低廉なる石材を用ひて美にして衛生的なる建築を爲す事が能きる(つゞく)

□倶樂部めぐり

背廣な冬の手から脫け出て、親しみ馴れた褞袍に代せて何か知ら道が近くてられるやうな心もちで、ブラ〳〵と遊び出した。そこにはいつもの通り賑びの色みたゞへた街が、暖かい街路な靜けて待つてゐる。暑い冬な誇つた軋て殿の傍には、もう暑い夏が寢がつてる。此の僅な間隔はまことに吾等に與へられた遊樂季節ではないだらうか、野に出ようか山に行かうか、それもよからう、しかし一刻千金といふ春の宵をどうして暮らさう。綻狀さんざめく灯の明ろ巷に淺酌低唱の情趣を味はうか、イヤしくそんな不健全な所に行かうより高尚な娛樂、温雅な趣味をたづねて歩くに若くはないだらう。こんな事を思うて市中の各倶樂部を廻つて步るく事にした。

▲銀行倶樂部

朝鮮銀行の灰色の冷めたい建物に沿うて、これは又典雅な門構へ、丹朱の色の鮮かな長谷川町の銀行集會所の倶樂部へ行つて見る、それは

═退廳時の四時過ぎ═

行燈袴や、一本筋のお役人がゾロ〳〵と歸つてゆく頃であつた、倶樂部は二階建、這入ると直ぐ右が重役室、茶褐のリノリユームがテラ〳〵と光る寔携、四十疊敷ばかりの西洋室、赤いその上にカロムテーブルが二臺、赤い縁を取つた羅布に被せられて、入口に置いてあつた

═玉突場のお得意は═

朝鮮銀行の御歴々ばかり、木村理事などの外に高瀬局長の百點、飯泉課長の百三十點、井上氏の百五十點、宮崎氏の百二十點、橫山氏の百二十點などがお高點者であるさうだ。しかし是等の人達はいづれも玉場の常連ではない、一月二度行はれる宴會の時など先着の人達が

═開會迄の時間潰し═

に思ひ出したやうに玉を弄ぶ人もあるが能々出掛けてくる人はないといふ事である。三百點突くとかいふ朝鮮人のボーイが近頃は隣邸り相手をしないので大分下がつたでせう」と自から卑下する程振はないさうだ。娛樂室の

═碁盤も將棋盤も═

滅多にお召出に與からず、淋しく袋を冠つたまゝまでゐるのも面白い。二階の讀書室にも人影はなく、二三月前の雜誌が二三種置いてあるばかり、倶樂部は可なりあるが中流以上の人達が多いせいか、出勤の往き殊に忙がはしい職業に携はる銀行會社の人達が多いせいか、土曜の日なんぞ寄道をする人など曾てなく、每週催される

═火曜會の時など═

執務中の貴重な時間を割いて集まるので、會合が濟めば皆さんはさつさとお歸りになりますと倶樂部の人は笑つてゐた。

◎愛婦修養講演會

愛國婦人會朝鮮本部は十二日午後一時三十分より京城南山町の同會本部に於て修養講演會を開き高田顯哉老師の「精神の力」と題する講話ある由にて會員及一般婦人の參聽を歡迎する由

金牌受領　髪を黒く長くつやを出しさらくとして髪のを防ぐ妙　本榛香油

◎消防義會へ寄附

本町三丁目　月一日夜京城若草町に大火ありたる際本町三丁目迄延燒したるも同町の大部分は類燒を免れたるため兩町にては京城の常備及び義勇消防隊員が盡瘁したる功を多とし道回兩町有志は各若干宛を醵出し本町三丁目田村義次郎氏外百十七名にて金一百圓を京城消防義會に寄附したりと

◎日宗婦人會

旭町三丁目日宗婦人會にては十三日午後一時より日宗寺にて第六十七回例會を開會す

京日內案
普通(一回…)

入用 希望者は來談あれ 京城府漢江通八 小川商工事務所 電話六四八番 93

店員入用 二十歲以上三十五歲迄本人來談あれ但要保證 京城太平通二丁目 滝藤味噌小賣部 94

雜誌類は何でも此際高價に申受く(古本買入) 京城本町二 電二五二七 ホツボヤ書店 84

ダリヤ 破格提供カタログ往復はがきにて申込まるべし 宇都宮市西橋田町 二里山カーデン 90

店員入用 十七歲より二十二三歲迄 保證入を要す本人來店あれ 龍山營道橋內 田口商店 91

▲店員入用 二十歲未滿の人一名入用本人來談 京城旭町 川西食料店 92

◎貸間を求む 官吏夫婦にて台所付き二間位なる貸間を求む(姓名在社) 80

◎古本なら 京城本町 買入高價 大阪屋號書店 76

◎古本買入 京城本町一丁目 野村書店(電話六三六番) 16

▲▲御報參上 地方迄も 京城本二 森田文光堂書店 電話八六五 17

番外(一回…)

中原義一 年齡十二歲 右之者昨年末より行衛不明に付心當りの方は左記へ御一報の程祈上候 京城本町四、三七 奈古館 95

▲旋盤工を需む 京城古市町三十七番地 自動車修理所 82

▼鑛物各種分拆 京城大平町二ノ一二五 坂本分拆所 49

▼讓店アリ▲ 各種商業に好適の店舖陳列戶棚及造作付裏庭に完全なる倉庫專用水道設備あり 黃金町二橋要携所 姓名在社 71

好職 利益多大美術ゴム事業老幼男女誰でも出來本業又は副業に適す志望者は來店又は郵券十錢送れ案內書及製品見本急送呈す 京城太平通二大漢門前 太陽ゴム商會 32

各種萬年筆修理應需 地方よりの修理は往復端書にて照會次第見積差上候 京城若草町一六四 秋田屋地方部 13

◎測量製圖 京城旭町一丁目 電話一〇七八番 山田 37

恩給 年金類低利長期立換 無保險地方在住者上京に不及便法あり其他擔保信用貸仕候 ○御成 京城南大門外 山口屋 45

年金 恩給退隱料で金融希望者へ低利輕便に數年分即時立替 其他諸公債債劵に對し低利擔保貸金 京城永樂町一丁目 商品陳列館表門前 江州屋本店 48

▲特製 草餅 賣出し ▲製菓 博士 京城本町一丁目 電話二三四三 本城屋 70

電避雷針 材料器具販賣 工事叮嚀迅速施工 京城明治町通 加藤商會 電話長一四七二番 77

開院廣告 今般左記の所に開業し仁川病院歯科部に勤務致居候 仁川山手町六 東京歯科醫學士 飯塚喜四郎 四月十四日

東洋一の魁 靴と鞄 內田靴鞄問屋

製材機械原動機 其他一切付丸鋸共 賃貸又は割安賣却 鑛山機械專門製作 南大門通五丁目 電話一〇四番 中根商會

新刊書御案內
◎朝鮮總督府職員錄 總督府 六〇
◎耶蘇傳 上澤謙二 一、五〇
◎神人論 蘇ゝ博士 一、二〇
◎實踐一日一善講話 山本瀧之助 一、二〇
◎死後は如何 マーテルリンク著 一、二〇
◎通俗禪道講話 伊藤大宗師 一、〇〇
◎心の晦 羽毛訓風 九五
◎株式期米相場必勝の新研究 相場必勝研究會 二、〇〇
◎滿洲概要 滿洲會 一、〇〇
◎農村自治要義 山崎延吉 一、〇〇
◎大正政局史論 德富猪一郎 二、〇〇
◎洋酒飲料調合法 一、〇〇
◎化粧と美容 小木鋼三郎 一、二〇
◎安易生活と食物の活用 六五
◎廣告カットと廣告文句 清水正巳 一、〇〇
◎中山大納言 碧瑠璃園 九〇
◎楠正成 渡邊霞亭 一、二〇
◎戀愛の人々 よし子 一、三八
◎酒と戀と女 五五
◎女ロマンス やなぎ生 三八
◎解剖刀下女百態 三五
◎うきよ 一、三〇
◎花柳病と其豫防法 一、〇〇
大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城二九七三番

ちんざう病 何程重症も著しく効顯ある良藥なりハガキにて照會あれ無料詳報す 播磨明石新濱 喜春堂

印入大勉強 扇 團扇 雜貨 洋酒 仁川港富澤商店

千生瓢 (180)

須藤南翠作 筒井年峰畫

犬山城（七）

平左衛門は、意外の沙汰を聞いて、直と惘れた。

『中川殿は三千貫の大身、殊に犬山御城代おざる、平左衛門風情の娘をたまでに御懇ひなさらう筈はおざらぬ。御聞耳ておな――』

誰彼は詞を進つて、

『所謂其處が思案の外おざる。足下我等が詞に空耳走らして、今にも御召出しの命あらば、何となさるゝ御所存おざる』

『さらば當惑千萬おざるが、御宮仕の人ならば、辭し參らするまでもおざらねど、中川へ下さるゝ儀は、如何にしても承服出來申されぬわ』

『殿は中川の申し出を、もはや御承引御坐つたげ。君命とあらば否とも申されまい』

『實に、實に。さらば病氣と披露し御宮仕へも御辭退申さう』

『併し中川ほどの奸物が、僞りを喰ふ事はおざらぬ。病氣見屆の御檢視參らば』

『平左衛門も武士おざる、不便にはおざれど、娘が首を打放し、檢視に實檢させ申すわ』と、平左衛門は悲憤に堪へず、熱い涙をはらはらと落した。

『其御覺悟までもおざるまいが、必す中川に欺かるゝな。犬山の御城代を、申し請けたも中川が所爲とおざる。物頭御免の沙汰も、中川が奸鋭ぢやらうと、專ら評判致いておざる。能く〱御用心なさせられい』と、友情厚き忠言を呈めて、誰彼は立ち去つた。

今までは、扶代を停められたも、物頭を免されたも、皆是れ主君が御性質にて、一時の錯誤に出た事であらう。而も斯かる主君に仕へたのが、即ち身の不幸であるから、怨むべき處もないと考へて、更に中

の事は考へなかつた。只願有事の日の備へを忘られやう、武藝に心力を練り、家來を厚く敎養して、武人の努めを勗めたので、流石は南朝無双の大忠臣が末ほどあつて、梶川は天晴の武士であると、知るも識ぬも評判してゐた程であつた。然るに友の情誼に依つて、中川が武士らしからぬ奸詐の行ひを告げ知らされて、平左衛門は躍り上つて憤つた。

『憎くき中川奴が心術かな、己が利慾を遂げやう爲に、讒言を以て君を惑はし、人の職務を私に黜陟し、剩へ徒らに人の娘に懸想して、我意の遂げられぬを遺恨に持ち、讒を構へて窮地に陷れ、今また口を君命に藉りて、人の娘を盗まうと企つる條、言語道斷の暴戻、武士たる者の風上へも置き難き人非人とは彼の事ぢや。爾とは知らず父祖累代の主君織田殿の御迎技、現在君と事ふる殿の御性質を疑ひ申し上げたる事、平左衛門が一生の瑕瑾、恐れ多い事であつたわ。其代りには武士を砥いて必ず御馬前に功名仕つり、身の罪を償ひ申す。平に御仁恕下されい』と、熱涙を流して城の方を伏し拜んだ。

此一念の深る所、果は多くの家來を扶持して、物頭は罷られても更に人數に事を缺ねば家こそは貧乏なれど、武士一通りには貧乏せぬ、あの梶川平左衛門こそ、侍士の中の侍士よと其評判伊勢尾張に充ち渡つて、今にも相當の役義に上るべき勢となつた。

之を聞いた中川掛右衛門は、取る物も取敢ず長島に登城して、讒言を上つり、暗愚の殿を怒らせて、老臣等の諫めをも聽かず、梶川が五百貫の祿を褫いで、遂に七島を逐放せしめたのであつた。

斯かる上は是非に及ばず、速かに退轉仕つらうと、平左衛門は家屋敷を明渡し、白晝に長島を引拂つた。其身は立派な鞍沿馬に打跨り、娘は擔き駕輿に乘り、槍、長刀、弓、鐵砲、鎧櫃、合羽籠、兩掛、小荷駄に至るまで、整然として列を正し、家の郎等二十人ばかり、勇ましやかに立ち退いたのは、天晴武士の鑑であつた。

斯くして正繼は近江路に流離へ、中川攝の城に籠ると聞き、西軍に投つて一番に馳せ向ひ、遂に思ひのまゝの復讐を果したのである。

京城明治町 木村屋 木村屋のパンとキヤラメルふところに山登りせん時は來にけり （電話二八七〇番）

入院隨意（診療夜九時迄） 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 狗瘡 皮膚病 泌尿器病 專門 永樂町二丁目 金光教會隣り 安部醫院 電話四一九番

同情の涙

黒田鹿水作

我が山の本は西海波 靜けき御代を祝げど
歐一睹猶ほ今將に 猜疑の巻となりにける
虎狼に似たるカイゼルは 飽なき慾に滿たさむと
白耳義國に攻め入りて 益々の慈を肆にし
罪なき民を虐げて 非道の擧動多ければ
男主始め丈夫は 無念の涙禁へ得ず
妻子に分れ家を捨て さして行くは西の方
佛蘭西領のハーブルに 都を遷し朝な夕
故國の空を眺めつゝ 雨と降りしく敵彈の
裡に三年の憂き思ひ 家ともおもおろかなり
我が息國も白耳義と 利害等しき國なれば
よしや萬里を隔つとも いかで情の無るべき
かよわき腕が恋にも 袖に涙のしぐれ來て
過勝なる四つの緒を 貧東なくも今鼓に
奏でゝうきた踏むる 奏でゝうきた踏なむ

日報俳壇

雉子郎選

春宵

春宵や忘れましの灰の衣錢　橙黄子
春の宵女のかすに蛍かな　同
春宵や宇佐の杜遥の灯は旅籠　同
春の宵衍け行く襟の迸り針　昌山

霞

早婚の遺風を島の霞かな　並城
霞む鶺を出て散り行く工夫かな　沛子
寄られぬ島の名を聞く霞かな　雲帝
段々畑一日人ある霞かな　よしみ

春雨

春雨や塊黒き阿蘇の谷　義朗
春の雨讀むとも日記繰りに見る　右門
春雨や茶碗の沈む炊き桶　陵雨

水温

花見稍な馴れ風土や水温む　義朗
水温めば里人牛を放ちけり　潮外
山裾に拜録笠下す水温む　露星
術狗や〻適えし思や水温む　田打夫
温む水に眠り醒めたる草多し　よしみ
□春の句を募る　各題別紙、投稿所
（變更）京城府瑞麟洞三十四、浮城會

花切り出よ初雷の終り許さ　蔵樹
山の後ろ初雷を花業躰り行く　同
欄干に下る稲高き春の雷　同
なの雷鼓かふさるる家根平らに　同
花吹き出り初雷す旋風立てり　同
春の雷船のみき煙引きたれ　同
年を甘る謎のあちこち春の雷　羽双
春雷とて芽を競み組衆の中　同
春雷の芝中さく立つ嗣あり　同
羽織脱ぎたり初雷遠き　同
春雷に火鉢の火立ち消える　同
春雷に撒水す銀座四丁目　同
春雷に雹珠切れて夜明けたり　田
春の雷足袋干し忘れ縁に立ち　同
掛手拭のスーと落ちたる春の雷　同
煉瓦塀長なし初雷くるゝ　同
自讚の風籟り初雷の窓　同　村

清酢 マルカン印

日本一 創業三百有餘年

各地到る所の酒醤油店に販賣せり
特約店 日本醤油株式會社出張所 京城太平通二丁目 電話二四五番

新刊紹介

▲葛原勾當日記　八十餘の發明者葛原勾當は、實に天才の音樂家たるのみならず意匠に富み手工に長じ智能衆に秀て、世態人情風土等一種の觀察眼を有し殊に面白きは二十歳より以後死に至る迄の日記にして和歌又は突へ時に諧謔を加ふ殊に其の日記は苦心を以て印刷せる者等にして皆見るべきものあり（二冊二十錢東京日本橋區博文館）

▲禪の立場から　如是觀如是說如是行の三篇に別ち哲學、宗敎觀、生死と靈魂、解脱等の一般に關する禪を親しく行文平易にして善く禪の一端を觀ふに足るべし（八十錢東京市神田區駿河臺袋町一光融社）

▲新演藝（一の二）　開卷先づ緑濃き春光に對する旗の松竹の新作に對して興あるの多きのあり漸く作品數十篇の外に口給藝術家の面影を覗く藝術家數名のの筆記を收めたり市井藝術に對しては頗る面白かるべし（三十八錢東京市芝區公園地玄文社）

▲德富蘆花譯述 探偵異聞 定價金二十五錢 ▲郵稅本社持

○巢鴨の奇談○うらおもて○毒藥○雲がくれ○秘密條約○大陰謀○まかつみの七編にして凡て外國探偵小說中の傑作を拔き之を譯するに蘆花氏得意の妙文を以てす波瀾萬丈人物出沒の奇一讀魂飛び神飛ぶの思あり蘆花氏の著書中全く色彩を別にしたるものにして亦以て著者の多趣味多方面の筆致を窺ふに足る可し 京城日報社代理部

京城府告示第參號

府內各警察署管內ニ於テ春季種痘及檢痘ヲ左記日割ノ通リ施行ス依テ生後九十日以上ノ未種痘者及種痘濟後五年ヲ經過シタル者並ニ初種者ニシテ不善感ナリシ者ハ各其ノ集合區域ノ施行場所ニ就キ種痘及檢痘ヲ受クベシ

但シ當日雨天ノ時ハ所定最終日ノ次ニ繰下施行ス

大正五年三月三十一日　京城府尹 金谷充

記

大正五年春季種痘及檢痘施行日割表

本町警察署管內

種痘

施行月日	施行時間	場所	集合區域
四月四日	自午前九時至午后四時	御成座町 御成座	吉野町一二丁目、古市町、南大門通一二三丁目、四丁目、和泉町、御成町、蓬萊町、北米倉町、大平通二丁目、義州通一二丁目、南米倉町、中林洞、蛤洞、漢井洞、西界洞內ニ居住スル內地人
同五日	同上	同上	前記各町洞內ニ居住スル朝鮮人
四月六日	同上	明治町浪花館	南大門通一二三丁目、西小門町、長谷川町、本町一二丁目、明治町一二丁目、旭町一二三丁目、永樂町一二丁目、南山町一二三丁目、貞洞、大平通一丁目內ニ居住スル內地人
同七日	同上	同上	前記各町洞內ニ居住スル朝鮮人
四月八日	仝上	大和町開敎院	壽町、日出町、誘岐台町、大和町一二三丁目、新町、東四軒町、本町三四五丁目、櫻井町一二丁目、若草町、三光町、永樂町二丁目、並木町內ニ居住スル內地人
仝十日	仝上	仝上	前記各町洞內ニ居住スル朝鮮人
四月十一日	同上	元黄金町分署	黄金町一二三丁目、南大門通一丁目、水下町、長橋町、水票町、三角町、林町、武橋町、茶屋町、笠井町內ニ居住スル內地人
仝十二日	仝上	仝上	前記各町洞內ニ居住スル朝鮮人
四月十三日	同上	黄金町黄金館	花園町、初音町、黄金町四五七丁目、舟橋町、芳山町、光熙町一二丁目內ニ居住スル內地人
仝十四日	仝上	仝上	前記各町內ニ居住スル朝鮮人
四月十七日	仝上	各學校	午前南大門公立尋常小學校生徒 午后公立高等女學校生徒並庚子記念幼稚園兒
四月十八日	同上	各學校	午前日出公立尋常小學校生徒 午后櫻井公立尋常小學校生徒

檢痘

施行月日	施行時間	場所
四月十一日	自午前九時至午后四時	御成座町 御成座
四月十二日	同上	明治町浪花館
四月十四日	仝上	大和町開敎院
四月十七日	仝上	元黄金町分署
四月十九日	同上	黄金町黄金館
四月二十四日	仝上	各學校
四月二十九日	同上	各學校

鍾路警察署管內

種痘

施行月日	施行時間	場所	集合區域
四月四日	自午前九時至午后四時	西大門町一丁目女子公立普通學校	積善洞、需昌洞、都染洞、唐珠洞、西大門町一二丁目、光化門通內ニ居住スル內鮮人
仝五日	仝上	通義洞公立普通學校	昌成洞、通義洞、躰府洞、社稷洞、弼雲洞內ニ居住スル內鮮人
四月六日	仝上	仝上	主仁洞、樓上洞、樓下洞、通洞、淸雲洞、新橋洞、宮井洞、孝子洞內ニ居住スル內鮮人
仝七日	仝上	[illegible]	三淸洞、八判洞、嘉會洞、花洞、昭格洞、諫洞、松峴洞、安國洞、桂洞內ニ居住スル內鮮人
仝八日	仝上	公平洞中央市場	中學洞、壽松洞、堅志洞、寬勳洞、公平洞、鍾路一丁目、瑞麟洞、淸進洞、南大門通一丁目內ニ居住スル內鮮人（鍾路公立尋常高等小學校ニ於テ同校生徒）
十日	同上	慶雲洞公立普通學校	仁寺洞、鍾路二丁目、貫鐵洞、慶雲洞、雲泥洞、樂園洞、觀水洞、齋洞內ニ居住スル內鮮人
仝十一日	仝上	授恩洞[illegible]	勸農洞、臥龍洞、益善洞、敦義洞、授恩洞、鳳翼洞、鍾路三丁目、薰井洞、長沙洞ニ居住スル內鮮人
仝十三日	仝上	崇二洞私立崇正學校	崇一洞、崇二洞、崇三洞、崇四洞、惠化洞、東崇洞、梨花洞內ニ居住スル內鮮人
仝十四日	仝上	鍾路四丁目元東大門分署	蓮建洞、苑南洞、蓮池洞、仁義洞、孝悌洞、禮智洞、鍾路四丁目內ニ居住スル內鮮人
同十五日	同上	鍾路六丁目私立東彰學校	鍾路五六丁目、昌信洞、崇仁洞、忠信洞內ニ居住スル內鮮人

檢痘

施行月日	施行時間	場所
四月十二日	自午前九時至午后四時	通義洞公立普通學校 梅洞公立普通學校
四月十七日	仝上	鍾路尋常高等小學校
四月二十日	同上	元東大門分署

種痘

施行月日	施行時間	場所	集合區域
同十八日	同上	竹添町力行社	竹添町一二三丁目、橋南洞、冷洞、平洞內ニ居住スル內鮮人
同十九日	同上	同上	峴底洞、杏村洞、紅把洞、舘洞、橋北洞、天然洞、松月洞、玉川洞內ニ居住スル內鮮人

檢痘

施行月日	施行時間	場所
四月二十七日	同上	冷洞市場

龍山憲兵分隊管內

種痘

施行月日	施行時間	場所	集合區域
四月十四日	自午前九時至午后四時	岡崎町私立外門幼稚園	三坂通、岡崎町、漢江通四番地內ニ居住スル內鮮人
仝十五日	仝上	龍山公立尋常小學校 私立新龍山幼稚園	龍山公立尋常小學校生徒 私立新龍山幼稚園兒
仝十六日	仝上	龍山公立尋常小學校	漢江通自一番地至十六番地（但四番地ヲ除ク）內ニ居住スル內鮮人
仝十七日	仝上	二村洞私立養英學校	二村洞內ニ居住スル內鮮人
同十八日	仝上	元兵站憲兵派遣所	青葉町一二三丁目、元町一丁目、京町內ニ居住スル內鮮人
同十九日	同上	同上	元町二丁目、榮町、大島町、彌生町、錦町內ニ居住スル內鮮人
同二十日	仝上	仝上	元町三四丁目、淸水町、岩根町、山手町內ニ居住スル內鮮人
同廿一日	同上	渡船場組合事務所	麻浦洞桃花洞內ニ居住スル內鮮人
同廿二日	同上	元町公立尋常高等小學校 麻浦公立普通學校	元町公立尋常高等小學校 麻浦公立普通學校生徒

檢痘

施行月日	施行時間	場所
四月二十一日	午后	岡崎町私立外門幼稚園
仝日	午前	龍山小學校 新龍山幼稚園
仝二十三日	午后	龍山公立尋常小學校
仝日	午前	二村洞私立養英學校
四月二十六日	自午前九時至午后四時	元町憲兵派遣所
四月二十八日	午后	渡船場組合事務所
同日	午前	元町公立尋常高等小學校 麻浦公立普通學校

最上醤油 朝鮮仁川港 高杉醤油醸造場

菓子原料 器具一式 製菓 廣告 仁川龍里 福西製粉所 電話三二六番 振替京城八〇〇番

商況

大阪株式特電

（十一日前場） [illegible]

大阪期米特電

（十一日前場） [illegible]

下關期米特電

（十一日前場） 六月限 高値 一四、二六 安値 一四、二五 [illegible]

仁川米豆取引所

（十一日後場）[illegible]

▲後場不勢　前場の商況を承け[illegible]

▲現物界 [illegible]

大阪商船仁川出帆

群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 安東丸 四月十四日 須摩丸 四月十七日 天智丸 四月二十日 午後五時出帆
木浦、釜山、長崎、鹿原鄉の浦行 信濃川丸 四月廿三日 信濃川丸 五月十一日 後二時出
鎭南浦、大連行 信濃川丸 四月十八日 信濃川丸 五月六日 後二時出
木浦、大阪直航 宮島丸 四月十七日 後五時出
大連直行 潮州丸 四月十七日 福州丸 四月廿七日 正午出帆
群山、釜山、濟州島行 潮州丸 四月廿二日 福州丸 五月二日 午後二時出帆
淸津、浦潮行（元山出帆）城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港 宮島丸 四月廿九日 平安丸 四月十五日 午後二時出帆
上海、基隆、打狗行（大連出帆）基隆丸 四月十二日 後十時出 城津丸 四月廿三日 後四時出
御注意 ○京城鐵道及南滿洲鐵道會社との聯帶切符發賣仕候 ○乘船者には本船出帆約一時間前無賃送迎可仕候 ○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二三番 二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番
▲中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司迄一割引門司より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

日本郵船仁川出帆
三河丸 大連、太沽、牛莊行 四月廿二日 正午出帆
相模丸 五月五日 正午出帆
高砂丸 四月 日 正午出帆
仁川海岸町二丁目 電話十一番 堀回漕部

共同汽船仁川出帆
鎭南浦、芝罘、大連行 第三共同丸 四月十四日正午出帆 月 日後二時入
朝鮮鐵道主要驛にて貨客連絡輸送御取扱仕候大連にて青島行定期船に接續貨客共御取扱仕候
城津、淸津、浦潮行（元山出帆） 第一阪鶴丸 月 日後九時入港 月 日出帆
第三西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日入 月 日出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目 電話一〇八番 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船
全羅丸 釜山着 四月十二日
京畿丸 四月廿二日
黄海丸 四月廿六日
成鏡丸 四月十六日
平城丸 四月十三日
昌城丸 四月十七日
鏡城丸 元山着
忠淸丸 四月十二日 元山發
水興丸 四月廿八日 元山發
盈德丸 四月 日 釜山發
江陵丸 毎日 釜山發
三浦丸 四月 日 釜山發
海州丸 巨濟丸 慶寶丸 釜山發
天興丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 木浦發
公州丸 木浦發
宗信丸 四月十二日 仁川發
江原丸 四月十七日 仁川發
麗水丸 四月 日 仁川發
晋州丸 四月十七日 仁川發
錦江丸 毎日午前 仁川發
南陽丸 四月廿四日
平安丸 四月十八日 群山發 若松發
本社京城 電話一九五二番 松原運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 文神丸 四月 日後五時出帆
○元山淸津浦潮行 立神丸 月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、城津、浦潮行 小倉丸 四月廿六日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 四月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天真丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 大正丸 四月十二日 午後四時出帆
大有丸 四月廿四日 午後四時出帆
神代丸 四月十九日 午後四時出帆
快龍丸 月 日 午後四時出帆
君が代丸 月 日 午後四時出帆
仁川新町通五十九番地 高杉回漕部